

# 履修の手引

（令和6年度入学者適用）

愛媛大学工学部

2024



# 目 次

1. 「教育体制」	
1. 1 工学科・教育コース	1
1. 2 履修指導クラス	1
1. 3 教育コースへの所属	2
1. 4 転コース	2
1. 5 受講クラス	3
2. 「履修について」	
2. 1 最低修得単位	4
2. 2 共通教育科目	4
2. 3 専門教育科目	5
2. 4 科目ナンバリングについて	5
2. 5 教育職員免許状及び各種資格の取得をする場合	6
2. 6 履修登録上の注意	6
2. 7 履修登録科目の取消し	8
2. 8 CAP制(履修登録単位数の上限設定)について	8
3. 「成績評価・単位及び卒業認定」	
3. 1 成績評価	9
3. 2 成績確認・成績送付	10
3. 3 単位認定	10
3. 3. 1 授業科目表に記載されていない科目的取扱い	10
3. 3. 2 既履修単位の認定	11
3. 4 卒業認定	11
3. 5 在学期間と休学	12
4. 「カリキュラムと授業科目」	
4. 1 工学科のカリキュラムの特徴	13
4. 2 学習の到達目標	14
4. 3 教育コースの年次別配当科目表とカリキュラムマップ	16
5. 「教育職員免許状(教員免許)」	53
5. 1 基礎資格及び修得すべき単位数	53
5. 2 単位の修得方法	53
5. 3 教職実践演習	60
5. 3. 1 教職課程学習ポートフォリオ	60
5. 3. 2 リフレクション・ディ	61
6. 「その他の資格について」	62
7. 「他大学との単位互換について」	68
8. 「学内諸規程等」	69
9. 「工学部ディプロマポリシー(DP)」	80

# 1. 「教育体制」

## 1.1 工学科・教育コース

工学部・工学科は、「機械・システム」、「電気・情報」、「材料・化学」、「土木・環境」の4つの学問分野を包括した、「機械工学コース」、「知能システム学コース」、「電気電子工学コース」、「コンピュータ科学コース」、「応用情報工学コース」、「材料デザイン工学コース」、「化学・生命科学コース」、「社会基盤工学コース」、「社会デザインコース」の9教育コースからなります。各教育コースの受け入れ可能人数の目安は下図のとおりです。

1年	2年以上	
<b>履修指導 クラス</b>	<b>教育コース</b>	
A (90名)	機械工学コース (70名)	機械 システム 分野
B (95名)	知能システム学コース (20名)	
C (95名)	電気電子工学コース (80名)	
D (80名)	コンピュータ科学コース (40名)	デジタル情報人材 育成特別プログラム (30名)
E (80名)	応用情報工学コース (40名)	
F (90名)	材料デザイン工学コース (70名)	材料 化学 分野
	化学・生命科学コース (90名)	
	社会基盤工学コース (65名)	土木 環境 分野
	社会デザインコース (25名)	

## 1.2 履修指導クラス

みなさんが1年次のガイダンスや履修指導を受ける集まり（クラス）を履修指導クラスと呼びます。入学後みなさんは、履修指導クラス（A～F）のいずれかに所属します。履修指導クラスの人数の目安と担当教員は以下のとおりです。

- A クラス：90名 機械工学コース・知能システム学コースの教員
- B クラス：95名 主に電気電子工学コースの教員
- C クラス：95名 主にコンピュータ科学コース・応用情報工学コースの教員
- D クラス：80名 主に材料デザイン工学コースの教員
- E クラス：80名 主に化学・生命科学コースの教員
- F クラス：90名 社会基盤工学コース・社会デザインコースの教員

各履修指導クラスにはクラス担任がいますので、授業の履修や教育コースの選択などで困ったことがあれば相談してください。

2年次から卒業までは、教育コース毎に履修指導とガイダンスが行われます。

工学科では、学生生活担当教員制度を設けています。みなさんの所属する履修指導クラスあるいは教育コースの教員から学生生活担当教員が決まりますので、学生生活の中で、学習や課外活動、経済的な悩み、進路など困ったことがあれば、いつでも相談してください。（「はじめの一歩」p. 22も参照してください。）

### 1.3 教育コースへの所属

#### 一般選抜（理型入試）合格者

2回生から教育コースに所属します。教育コースに所属するには、1年次配当の共通教育科目（初年次科目7単位と基礎科目18単位）と専門教育科目（工学共通基礎科目12単位と専門入門科目10単位）の修得単位数の合計が35単位以上であることが必要です。1回生の前学期終了および後学期終了時に教育コースの希望調査を行い、本人の希望を優先して教育コースに配属されます。希望者が集中し、コースの受入可能人数を超えるコースが出た場合、1年次学業成績によって所属するコースの調整を行います。そのため、第一希望のコースに必ずしも所属できない場合があります。

#### 一般選抜（文理型・デジタル情報人材育成特別プログラム）、学校推薦型選抜・総合型選抜合格者

1回生から教育コースに所属しますが、1年次は所属する教育コースの教員が担当する履修指導クラスでガイダンスや履修指導等を受けます。

また、一定の条件を満たせば2回生から別の教育コースに移る（転コース）こともできます。

なお、デジタル情報人材育成特別プログラムの学生は、「コンピュータ科学コース」「応用情報工学コース」以外の教育コースへ移ることは原則として認められません。

#### 私費・国費（政府派遣）外国人留学生

1回生から教育コースに所属しますが、1年次は所属する教育コースの教員が担当する履修指導クラスでガイダンスや履修指導等を受けます。

また、一定の条件を満たせば2回生から別の教育コースに移る（転コース）こともできます。

### 1.4 転コース

別の教育コースに移ることを転コースといいます。2回生以降も、一定の条件を満たせば転コースすることができます。転コースの条件、時期、方法等については掲示等で知らせます。また、教育コース毎に卒業要件などが異なります（詳しくは4.「カリキュラムと授業科目」を参照）ので、転コースを希望する場合は、教育コース長又は学生生活担当教員とよく相談してください。

## 1.5 受講クラス

みなさんが同一の開講時間に同じ教室で受講する集まりを、受講クラスと呼びます。

共通教育科目や工学共通基礎科目では、受講クラスと履修指導クラスが異なります。つまり、同じ授業科目を受講する際、所属する履修指導クラス（あるいは教育コース）が同じ学生でも、異なる受講クラスで受講することになる場合があります。また、受講クラスの分け方は授業科目ごとにも異なります。

年次始めの履修ガイダンス及び学期始めに配布する時間割表でよく確認して、履修登録を行い、授業を受けてください。

## コラム

### ● 回生と年次

「回生」は学生の在籍年数を表します。

「年次」は入学後の4年間のカリキュラム上、授業科目が配当されている年を示します。

通常、年次と在籍年数は同じですが、2年次以降は所定の単位数を取得しないと履修できない科目が配当されています。

### ● 単位と単位制

「単位」は授業科目の学修を数量的に表すもので、授業科目の形態と学習時間に応じた単位が定められています。例えば、講義科目では教室等での授業時間と授業時間外学習（予習・復習など）を合わせて45時間の学修を必要とする教育内容が1単位と決められています。

## 2. 「履修について」

### はじめに

みなさんが履修する科目は、全学の学生向けの共通教育科目と工学部学生向けの専門教育科目からなります。この「履修の手引」をよく読んで、卒業要件だけではなく、履修上の制限や条件をよく理解し、履修計画を立ててください。また、入学時に受け取った「はじめの一歩」にも履修登録手続き等の各種手続きについて書かれていますので、そちらも合わせてよく読んでください。

### 2.1 最低修得単位

卒業するために必要な最低修得単位数は以下のとおり定められています。

共通教育科目	41 単位
専門教育科目	83 単位
合 計	124 単位

### 2.2 共通教育科目

共通教育科目は、「初年次科目」、「基礎科目」、「未来思考支援科目」、「教養科目」、「留学生対象科目」に区分されています。卒業に必要な科目区分ごとの最低取得単位数は以下のとおりです。

初年次科目	必修 7 単位を含む 7 単位
基礎科目	必修 18 単位を含む 18 単位
未来思考支援科目	必修 2 単位を含む 2 単位
教養科目	14 単位

授業科目や内容は、共通教育科目の履修の手引「共通教育履修案内」に詳しく書かれていますので、そちらを参考にして履修計画を立ててください。

- 「初年次科目」と「基礎科目」の単位を1年次に修得できない場合、2年次以降の履修計画に支障が出ますので特に注意してください。
- 外国人留学生を対象に開講される「留学生対象科目」のうち、日本語科目4単位を基礎科目（英語）4単位に、日本事情に関する科目8単位までを教養科目8単位までに、それぞれ代えることができます。（p.75 参照）

## 2.3 専門教育科目

専門教育科目は、「工学共通基礎科目」、「専門入門科目」、「専門基礎科目」、「専門応用科目」に区分されています。卒業に必要な科目区分ごとの最低修得単位数は以下のとおりです。

工学共通基礎科目	必修 16 単位を含む 16 単位
専門入門科目	10 単位
専門基礎科目、専門応用科目	57 単位

「専門基礎科目」と「専門応用科目」の卒業に必要な単位数と授業科目の内訳は、各教育コースで異なりますので、よく注意をして履修してください。詳細は4「カリキュラムと授業科目」を参照してください。

## 2.4 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、大学で開講している授業の水準や授業内容などを授業科目毎に特定の記号や数字を付与し、カリキュラムの体系性（科目群の構成や科目間の順次性）を示したものです。学生の皆さんにとっては、科目ナンバリングをシラバスなどで確認することで、授業の登録や履修を主体的かつ計画的に進めるための一助となります。

工学部工学科の専門科目は以下のようにナンバリングしています。

例：工学科専門入門科目『化学熱力学』 EnG1B-7PHY-021

EnG    1    B   -    7    PHY   -    021  
【1】 【2】 【3】    【4】    【5】    【6】

【1】開講学部学科

工学部工学科 EnG

【2】学年レベル    1, 2, 3, 4

【3】科目区分

A : 工学共通基礎科目

B : 専門入門科目

C : 専門基礎科目

D : 専門応用科目

【4】分野大分類    7 (工学)

【5】科目分類

コード	名 称	コード	名 称	コード	名 称
P H Y	物理学	C H B	基礎化学	I N E	総合工学
M C H	機械工学	E E L	電気電子工学	I N F	情報学基礎
M T E	材料工学	C H A	複合化学	C V E	土木工学
C M P	計算基盤	M T H	数学	C H E	化学工学
C H M	材料化学	M L B	生体分子科学	B B L	基礎生物学
B L S	生物化学	E N G	英 語	D S S	卒業研究

【6】科目番号    科目ごとの番号

## **2.5 教育職員免許状及び各種資格の取得をする場合**

教育職員免許状及び各種資格の取得を希望する場合、卒業要件の単位以外に修得しなければならない単位が多数あります。資格に必要とされる授業科目には1年次に開講される科目もあるので注意してください。また、取得できる免許状の種類は教育コースによって異なります。詳しくは5.「教育職員免許状（教員免許）」あるいは6.「その他資格について」を参照してください。

## **2.6 履修登録上の注意**

授業科目を履修する際には、下記の項目ならびに4.「カリキュラムと授業科目」をよく読んでください。

履修すべき授業科目、履修方法等について不明な点があれば、教育コース長（1年次は履修指導クラス担任）又は学生生活担当教員に相談してください。

### **(1) 履修登録**

履修登録は原則として学期始めの決められた期間にWeb（修学支援システム）上から行います。履修登録終了後の所定の期間内には修学支援システムから登録内容の修正ができます。

履修登録の方法で困ったことがあれば以下の窓口で相談してください。

共通教育科目：教育センター事務課共通教育チーム窓口（図書館1F）

専門教育科目：教育支援課工学部チーム窓口（図書館1F）

履修登録を行う際には以下の点について注意してください。

- 上の年次を対象に開講されている授業科目を履修登録することはできません。
- 各学期に履修登録できる授業科目の数には、単位数に基づいて制限が設けられています。これをC A P制といいます。
- 同一曜日の同一时限に開講されている授業科目を履修することはできません。
- 直接工学部チーム窓口で履修登録する授業科目があります。また、通常の履修登録とは異なる時期に登録手続きをしなければならない授業科目もあります。掲示板等で確認してください。

### **(2) 工学共通基礎科目の履修登録**

1年次開講の工学共通基礎科目は受講クラス別に授業が開講されますので、該当する受講クラスの授業の履修登録を行ってください。

### (3) 専門入門科目の履修登録

専門入門科目の各授業科目にはそれぞれ定員が設けられています。履修希望者がそれを超えた場合には抽選により調整を行います。後学期履修登録の前に、登録方法の詳細を修学支援システムのお知らせや工学部掲示板等でお知らせします。

2回生以上でも専門入門科目の履修は可能です。教育職員免許状及び各種資格の取得に必要な授業科目もありますので、それらの資格の取得を目指している学生には、希望の授業科目を優先して受講できるよう配慮します。

### (4) 専門基礎科目及び専門応用科目の履修登録

2年次以上の高学年に配当されている専門基礎科目及び専門応用科目を履修するためには、「科目表」(p.16 ~) に記載されている 1 年次配当の共通教育科目（初年次科目 7 単位と基礎科目 18 単位）と専門教育科目（工学共通基礎科目 12 単位と専門入門科目 10 単位）の修得単位数の合計が 35 単位以上であること、及び該当年次以上在籍している必要があります。ただし、早期卒業予定者である等の特別な理由がある場合は教育コース長の許可を得て履修することができます。

所属する教育コースの授業科目以外の授業科目の履修を希望する場合は、工学部チーム窓口で手続きを行ってください。実験、演習、実習科目を除く授業科目については、所属する教育コース長あるいは工学科長及び当該授業担当教員の許可を得て履修することができます。

ただし、修得した単位は、必ずしも卒業に必要な単位として認められるわけではありません。詳細は3「成績評価・単位及び卒業認定」をよく読み、事前に所属教育コース長と相談の上、履修するようにしてください。

### (5) 他学部、他大学の授業科目の履修登録

愛媛大学の他学部及び他大学等の授業科目の履修を希望する場合は、工学部チーム窓口で手続きを行ってください。

#### ①. 他学部科目

他学部の専門科目を工学部長及び当該授業担当教員の許可を得て履修することができます。

#### ②. 他大学科目

国内の単位互換に関する協定を結んでいる大学ならびに海外の学術交流協定を結んでいる大学（学部等）の科目を、工学部長及び相手側大学の許可を得て履修することができます。（7.「他大学等との単位互換について」を参照。）

愛媛大学が単位互換に関する協定を結んでいない大学の授業科目を履修しようとする場合は、学部長を経て学長の許可を得なければなりません。

修得した単位は、必ずしも卒業に必要な単位として認められるわけではありません。詳細は3.「成績評価・単位及び卒業認定」をよく読み、事前に所属教育コース長又は学生生活担当教員と相談の上、履修するようにしてください。

## (6) 卒業研究の履修登録

卒業研究を履修するためには、各教育コースで定められた要件（詳細は教育コース科目表参照）を満たすことが必要です。

## 2.7 履修登録科目の取消し

履修登録確認・修正期間を過ぎても、取消期間中であれば履修登録科目を取り消すことができます。取消しを希望する場合は、履修登録科目取消願を工学部チームの窓口（専門教育科目）あるいは共通教育チーム窓口（共通教育科目）へ提出し、手続きを行ってください。ただし、病気・ケガが理由の場合は、取消期間外でも履修登録を取消すことができる場合がありますので、各窓口に問い合わせてください。

履修登録を取り消さなかった科目については成績評価の対象となり、全学GPAの計算式に入りますので注意してください。

## 2.8 C A P制（履修登録単位数の上限設定）について

ひとつひとつの授業科目を十分に学習してもらうための措置として、1学期間に履修登録できる単位数に上限が以下のとおり設けられています。

1年次の各学期	：	30単位
2年次後学期	：	26単位
その他の各学期	：	24単位

ただし、以下の科目はC A P制の対象外となっています。

- 集中講義や資格取得のための授業科目
- 演習、実験、実習又は実技科目としている授業科目
- 受講し、かつ最終試験を受けて不可又は不合格となった授業科目について、次の学期以降に当該授業科目を履修する場合の授業科目
- 「5大学工学部等間単位互換に関する覚書」、及び「中国・四国国立大学工学系学部相互間における単位互換に関する協定」に基づく科目
- 放送大学の科目

特例としてC A P制の上限単位数を超えて履修科目の登録を許可する場合があります。詳細は「愛媛大学工学部における履修登録単位の上限に関する内規」を参照してください。

### 3. 「成績評価・単位及び卒業認定」

#### 3.1. 成績評価

##### (1) 成績評価の方法

学業成績は、試験及び平素の成績をもとに総合的に評価されます。試験は、筆記、レポート等により実施されます。平素の成績は、授業時間中の小テスト、課題の提出状況等によって判定されます。授業科目ごとの成績判定については、シラバスの「成績評価方法」の項目に記載されていますので参考にしてください。

学業成績の判定には、当該授業科目の開講時間数のうち、少なくとも3分の2以上の出席が必要です。ただし、「正当な理由による欠席」として認められた場合は、その時数は開講時数に算入されません。(詳細は「はじめの一歩」、修学支援システムで確認してください)

##### (2) 学業成績

学業成績は、点数(素点)あるいは評語：秀・優・良・可・不可で表し、その区分は以下のとおりです。可以上であれば、当該授業科目の単位を修得したことになります。また、各評価に応じてG P(成績評価点)が定められています。

評語	点数(素点)	基準	G P (grade point)
秀	90点以上	授業科目の到達目標を極めて高い水準で達成している。	4
優	80点～89点	授業科目の到達目標を高い水準で達成している。	3
良	70点～79点	授業科目の到達目標を標準的な水準で達成している。	2
可	60点～59点	授業科目の到達目標を最低限の水準で達成している。	1
不可	59点以下	授業科目の到達目標を達成していない。	0
評価しない		出席不足、定期試験の未受験など評価に値しない。	

##### (3) G P T(成績合計点)、G P A(成績平均値)

###### G P T

履修した各授業科目のG Pにその科目的単位数を掛けて合計した値を成績合計点G P Tと呼びます。

$$4 \times \text{「秀」の単位数} + 3 \times \text{「優」の単位数} + 2 \times \text{「良」の単位数} + 1 \times \text{「可」の単位数}$$

###### G P A

各授業科目のG Pにその科目的単位数の重みを付けた平均値をG P Aと呼びます。G P Aには全学G P Aと目的別(工学部)G P Aがあり、それぞれ以下の式で算出されます。

- 全学GPA

$$\frac{4 \times \text{「秀」の単位数} + 3 \times \text{「優」の単位数} + 2 \times \text{「良」の単位数} + 1 \times \text{「可」の単位数}}{\text{総履修登録単位数}}$$

- 目的別（工学部）GPA

$$\frac{4 \times \text{「秀」の単位数} + 3 \times \text{「優」の単位数} + 2 \times \text{「良」の単位数} + 1 \times \text{「可」の単位数}}{\text{総修得単位数}}$$

なお、成績評価が〔合格／不合格〕で行われている科目はGPT, GPAの算出対象から除外されます。

GPAは学修の質を表す指標であり、GPTは学修の量と質の両面から評価する指標といえます。なお、各自の学業成績、GPT, GPAは各学期の終了後、修学支援システムで確認することができます。

### 3.2 成績確認・成績送付

各学期の単位修得状況と成績は、修学支援システムで確認できます。もし、成績評価に疑義がある場合は、成績確認の申し立てを行うことができます。成績開示及び確認申し立ての時期や方法については、掲示にて知らせます。

成績確認申立書に必要事項を明記し、工学部チームに提出してください。

その他、学業成績等で疑義や困ったことがある場合は、教育コース長（1年次は履修指導クラス担任）又は学生生活担当教員に相談してください。

各学期の終了後、保証人又は保護者宛に成績通知を行います。1年次は10月末に、2年次以降は、5月上旬と10月末にそれぞれ成績表を郵送します。

### 3.3 単位認定

#### 3.3.1 授業科目表に記載されていない科目の取扱い

##### （1）所属教育コース以外の工学科の専門科目

所属教育コース長の許可のもと修得した単位については、工学科の専門教育科目の単位として認定されます。ただし、認定された単位のうち、卒業要件及び「卒業研究」履修要件として認められる単位数の上限と具体的な授業科目には、制限がありますので注意してください。詳細は教育コース長に確認してください。

##### （2）他学部、他大学の授業科目

###### ① 他学部科目

他学部の専門科目を履修し修得した単位は、専門基礎科目又は専門応用科目の単位として認定されます。

## ② 他大学科目

他大学等の科目の修得単位については専門基礎科目又は専門応用科目の単位を用いて認定することができます。

## (3) 教育職員免許状取得のための科目

化学・生命科学コースでは、卒業時に教育職員免許状「理科」を取得した場合に限り、「教育の基礎的理解に関する科目等」「地学Ⅱ」「理科教育法1」「理科教育法2」のうち10単位までを卒業に必要な専門基礎科目または専門応用科目に含めることができます。

コンピュータ科学コース・応用情報工学コースでは、卒業時に教育職員免許状「情報」を取得した場合に限り、「情報科教育法1」「情報科教育法2」の2科目の単位は、卒業要件の専門基礎科目または専門応用科目の修得単位として認められます。

ただし、(1)～(3)の授業科目の修得単位の内、卒業要件及び「卒業研究」履修要件として認められる単位数の上限と具体的な授業科目については、教育コース毎に異なります。詳細は教育コース長に確認してください。

### 3.3.2 既履修単位の認定

入学前（編入学、再入学を含む）に国内外の大学・短期大学、高等専門学校等において修得した単位は、学業上有益と認められると、工学部で修得した単位として、「単位認定基準」と照らし合わせて認定を受けることができます。単位認定を希望する場合は、工学部チームに申し出てください。

### 3.4 卒業認定

原則として4年以上（休学期間を除く。編入学生については定められた年数）在学し、かつ卒業要件の単位を修得した場合は、卒業が認定されます。教育コースごとの卒業要件については、4「カリキュラムと授業科目」を参照してください。

通常は、4年次の3月に卒業しますが、4年以上の在学者には9月卒業の制度もあります。また、成績が極めて優秀で学業に強い意欲のある学生には3年以上の在学（休学期間を除く。）で卒業できる早期卒業制度があります。

## (1) 早期卒業

早期卒業希望者は、まず「早期卒業予定者」の資格を得なければなりません。

早期卒業予定者の資格審査を希望する学生は、2年次学年末以降の所定の時期に所属教育コース長に申し出てください。審査基準、審査方法等については、掲示等でお知らせします。

早期卒業予定者の資格を得た学生が、卒業要件に必要な単位を修得し、かつ GPA が別に定める値以上である（あるいは見込まれる）とき、早期卒業するための申請をすることができます。

## **(2) 9月卒業**

9月末で4年（休学期間を除く）以上在学し、かつ卒業要件の単位を修得している学生は、9月末をもって卒業することができます。なお、卒業を希望する年度の前学期に開講される講義のうち、8月以降に集中形式で開講される授業科目については、卒業の認定対象になりません。

### **3.5 在学期間と休学**

在学期間は8年を超えることができません。

疾病などの理由により2か月以上修学できない場合は、学部長の許可を得て休学することができます。休学期間は通算して4年を超えることはできません。なお、休学期間は在学期間に算入されません。

## 4. 「カリキュラムと授業科目」

### 4.1 工学科のカリキュラムの特徴

工学科では、まず基礎をしっかりと学習したのち、専門知識を身につけるための深い学びと実践力の養成へと繋がるよう、カリキュラムが組まれています。



工学科のカリキュラムは図に示すように、共通教育科目、工学共通基礎科目、専門入門科目及び教育コースそれぞれに特徴ある教育を実施する専門基礎科目、専門応用科目から構成されています。

共通教育科目の初年次科目および基礎科目では「数学」、「英語」など、大学での学びを進めるための基礎的な知識と技能を学習します。また、専門分野の基礎を学んだあと、2年次、3年次前期で教養科目を履修することで、社会との関連を意識して、自己の学びを深めることができます。

工学共通基礎科目は工学科の学生全員が同じ内容の授業を受講します。1年次の工学共通基礎科目では、「物理基礎Ⅰ、Ⅱ」、「化学基礎Ⅰ、Ⅱ」、「基礎情報学」、「基礎安全学」などの科目で、工学系技術者・研究者を目指す学生が基本的に身につけなければならない知識・技能の基礎を学習します。「工学リテラシーⅠ」、「工学リテラシーⅡ」、「工学リテラシーⅣ」では、各教育コースの特徴や主な研究テーマを、生命・環境・エネルギー・社会・情報と科学技術の関わりの観点から学びます。「工学リテラシーⅢ」では、現代の情報社会に不可欠なデータサイエンスの基礎を演習も交えながら学習します。1年次後期には、教育コースの入門的な科目である「専門入門科目」が開講されます。

2年次には、学生は機械工学コース、知能システム学コース、電気電子工学コース、コンピュータ科学コース、応用情報工学コース、材料デザイン工学コース、化学・生命科学コース、社会基盤工学コース、社会デザインコースの9教育コースに分かれて専門教育科目の専門基礎科目を履修します。所属する教育コース毎に開講される専門教育科目の授業科目を受講することにより、より専門性を深めた知識・技能の修得を目指します。

3年次には、専門応用科目でより高い専門知識・技能を学習するとともに、卒業後を意識しつつ自己の学びを深めることができるよう、工学共通基礎科目として「学部共通PBL」、「工学倫理・知財・キャリアリテラシーⅠ、Ⅱ」を履修します。

- 具体的な授業科目と各科目的関係は、各教育コースの科目表とカリキュラムマップで確認してください。
- 専門教育科目的講義要目は工学部ホームページ（[https://www.eng.ehime-u.ac.jp/kougaku/student/risyu\\_tebiki/](https://www.eng.ehime-u.ac.jp/kougaku/student/risyu_tebiki/)）に掲載されていますので確認してください。

## 4.2 学習の到達目標

工学部のディプロマ・ポリシーでは、以下の学習の到達目標を設けています。

＜学習の到達目標＞

(知識・理解)

1. 幅広い教養と工学の基本的な知識を身につけている。
2. 工学の一専門分野について基礎的知識をもち、ものづくりやシステムづくりに活用できる。

(思考・判断)

3. 科学や技術が社会におよぼす影響を理解し、国内外の視点から自立的かつ論理的な判断を行うことができる。

(興味・関心・意欲)

4. 課題を解決するために必要となる工学的知識を自ら修得するために学習を継続する能力をもつ。

(態度)

5. 自己の専門分野だけでなく教養および多様な工学的知識を総合的に活用しながら、現代社会が直面するさまざまな課題に柔軟に対応できる。
6. 課題を他者と協働して解決できる。

(技能・表現)

7. 自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力をもつ。

# MEMO

#### 4.3 教育コースの年次別配当科目表とカリキュラムマップ

機械工学コース	(p.17)
知能システム学コース	(p.21)
電気電子工学コース	(p.25)
コンピュータ科学コース	(p.29)
応用情報工学コース	(p.33)
材料デザイン工学コース	(p.37)
化学・生命科学コース	(p.41)
社会基盤工学コース	(p.45)
社会デザインコース	(p.49)

#### 全教育コースに共通する注記事項

- 注1 他教育コースの専門基礎科目又は専門応用科目の修得単位は、学生が所属する教育コースにおける卒業要件、卒業研究履修要件の専門基礎科目又は専門応用科目の選択科目の単位数に12単位まで含めることができる※1), ※2), ※3)。
- ※1 教育コース長が認める範囲で12単位を超えて含めることができる。
- ※2 学生が所属する教育コースの科目に読み替えられる科目の単位は含めない。
- ※3 類似又は重複すると判断される科目の単位は含めない。
- 注2 他学部の専門科目の修得単位は、卒業要件、卒業研究履修要件の専門基礎科目又は専門応用科目の選択科目の単位数に4単位まで含めることができる。
- 注3 「5大学工学部等間単位互換に関する覚書」及び「中国・四国国立大学工学系学部相互間における単位互換に関する協定」に基づき修得した科目は、注2に記載されている「他学部の専門科目」に含めることができる。
- 注4 放送大学の科目のうち人文系及び社会系の中から合わせて4単位までを「共通教育科目」の「教養科目」に、工学に関連する科目のうちから2単位までを「専門教育科目」の「専門基礎科目」又は「専門応用科目」に含めることができる。
- 注5 教育職員免許状取得のための科目、留学先の協定校で修得した科目の単位の扱いは教育コース毎に異なるため、教育コース長に確認すること。
- 注6 修得した単位数が上記の卒業研究履修要件を満たさない場合でも、教育コースにおいて特別の事情があると認めるときには、卒業研究を履修させことがある。

# 機械工学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q 1Q	後 2Q 2Q	前 3Q 2Q	後 4Q 3Q	前 1Q 3Q	後 2Q 4Q	前 1Q 2Q	後 2Q 3Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 科 目	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
	教育 科 目	◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 科 目	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型 科 目						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	教 職 科 目	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
	小 計	14				4	4	8	8	8	8	4	
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1					2					
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1						2				
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	材料学系・デザイン・	機械とものづくり	2		2	2							
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2		2	2							
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2		2	2							
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2		2	2							
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2							
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2		2	2							
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2		2	2							
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2							
		情報システム概論	2		2	2							
	数理系	情報数学	2		2	2							
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2		2	2							
	化学系	プロテオサイエンス入門	2		2	2							
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2		2	2							
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2		2	2							
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習 I	2		2	2							
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小 計			62	62	62	62	62	62	62	62	62	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	◎ 機械製図法	2		2	2							
		機械材料学	2		2	2							
		◎ 応用数学 I (機械系)	2		2	2							
		◎ 応用力学	2		2	2							
		◎ 機械製作実習	1		3	3							
		材料力学演習	1		2	2							
		◎ 材料力学 I	2		2	2							
		◎ 热力学 I	2		2	2							
		热力学演習	1		2	2							
		応用機械材料学	2			2	2						
		構造化プログラミング	2		2	2							
		電気電子工学概論	2		2	2							
		◎ CAD実習	1			3	3						
		◎ 機械設計法	2			2	2						
		ロボット機構学	2		2	2							
		応用加工学	2			2	2						
		応用数学 II (機械系)	2			2	2						
		◎ 機械力学 I	2			2	2						
		機械力学演習	1			2	2						
		材料力学 II	2			2	2						
		熱力学 II	2			2	2						
		◎ 流体力学 I	2			2	2						
		流体力学演習	1			2	2						
		小 計	40		25	25	23	23	23	23	23	23	

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	伝熱工学演習	1					2	2				
		企業倫理	2							2	2		
		機械力学Ⅱ	2							2	2		
		産業経済論	2							2	2		
		制御基礎理論	2							2	2		
		制御基礎理論演習	1							2	2		
		(◎) 設計製図	2							4	4		
		伝熱工学	2							2	2		
		流体力学Ⅱ	2							2	2		
		インターンシップ(機械・システム)	1							2		集中講義	
		(◎) 機械工学実験	2					3	3	3	3		
		知的財産権	2							2	2		
		技術英語(機械系)	2							2	2		
		キャリア形成セミナー(機械・システム)	1							2	2		
		メカトロ・人工知能工学	2							2	2		
		制御・福祉工学	2							2	2		
		流体工学	2							2	2		
		船舶性能入門	2							2	2		
		海洋工学入門	2							2	2		
		エネルギー・システム工学	2							2	2		
		ロボット・生体工学	2							2	2		
		工場管理	2							2	2		
		(◎) 卒業研究	6										
小 計			46					25	23	17	17	4	
小 計			86			25	25	23	23	25	23	17	
総 計			205	28	28	80	74	29	29	33	33	35	

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。(ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。)

#### 【専門教育科目】83単位以上

- 工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

### 卒業研究履修要件

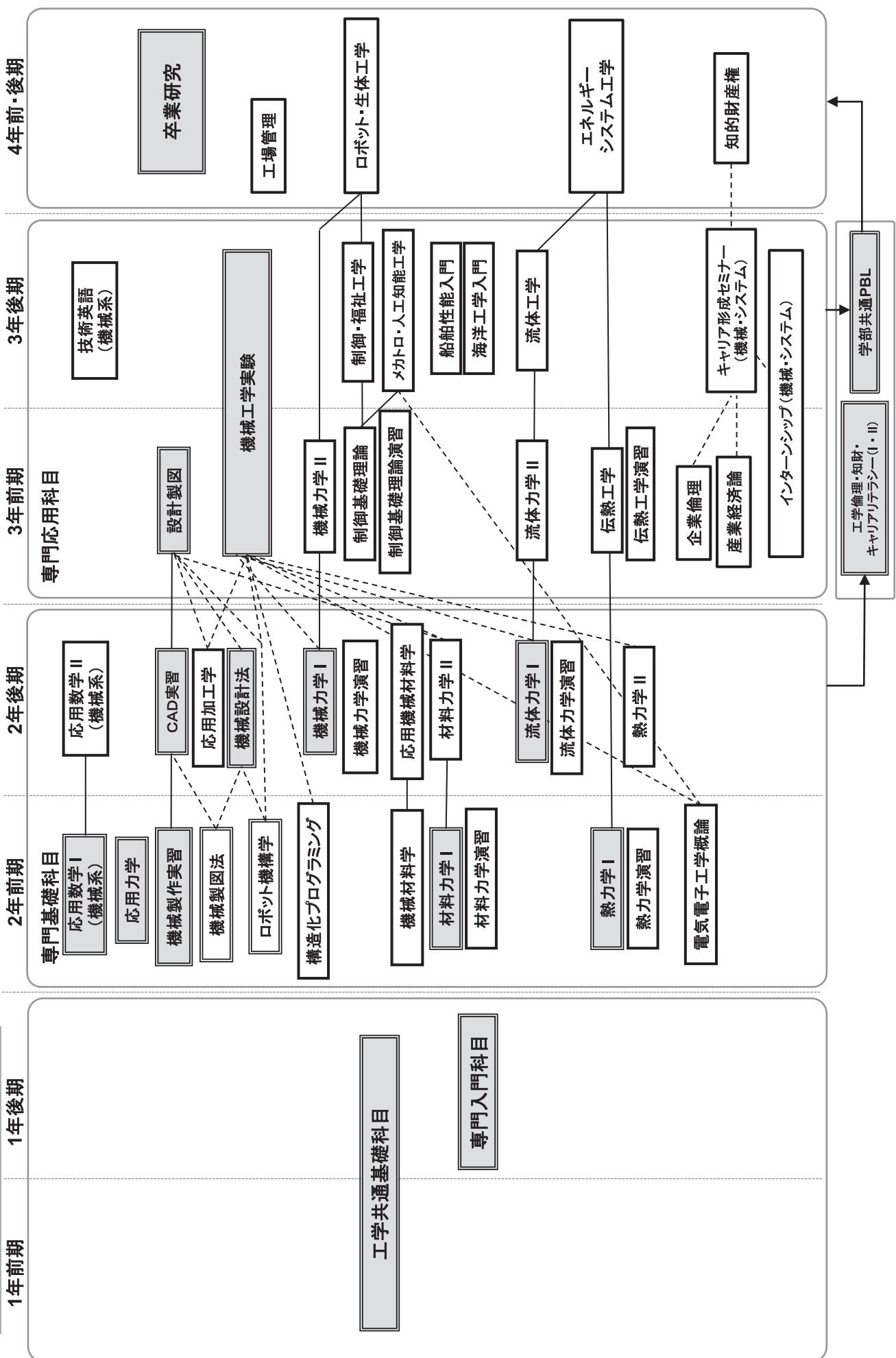
#### 【共通教育科目】

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。(ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。)

#### 【専門教育科目】

- 工学共通基礎科目 ..... 必修14卖位を含む14卖位
- 専門入門科目 ..... 8単位以上
- 専門基礎科目 ..... 必修科目14卖位を含む26卖位以上。ただし、「機械製作実習」及び「CAD実習」を含むこと。
- 専門応用科目 ..... 「卒業研究」以外の必修科目すべてを含む20卖位以上

## 機械工学コース



# 知能システム学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	单 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 来 科 思 目 考	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
		◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 来 科 思 目 考	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型 科 目						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 科 目 す る 許 可 する 旨	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
		小 計	14				4	4	8	8	8	4	
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1						2				
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1							2			
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	材料・システム・デザイン系	機械とものづくり	2		2	2							
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2		2	2							
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2		2	2							
	電気系	機械加工学	2		2	2							
		基礎電磁気学	2		2	2							
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2							
	情報学系	生体医工学入門	2		2	2							
		機械と制御	2		2	2							
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2		2	2							
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2							
	数理系	情報システム概論	2		2	2							
		情報数学	2		2	2							
		材料数学	2		2	2							
	化学系	確率・統計学	2		2	2							
		プロテオサイエンス入門	2		2	2							
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2		2	2							
	社会学系	化学・生命科学概論	2		2	2							
		持続可能な社会検討学	2		2	2							
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習 I	2		2	2							
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小 計			62	62	62	62	62	62	62	62	62	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	◎ 機械製図法	2		2	2							
		機械材料学	2		2	2							
		◎ 応用数学 I (機械系)	2		2	2							
		◎ 応用力学	2		2	2							
		◎ 機械製作実習	1		3	3							
		材料力学演習	1		2	2							
		◎ 材料力学 I	2		2	2							
		◎ 热力学 I	2		2	2							
		熱力学演習	1		2	2							
		応用機械材料学	2			2	2						
		構造化プログラミング	2		2	2							
		電気電子工学概論	2		2	2							
		シーケンス制御	2		2	2							
		◎ CAD実習	1			3	3						
		◎ 機械設計法	2			2	2						
		ロボット機構学	2		2	2							
		応用加工学	2			2	2						
		◎ 応用数学 II (機械系)	2			2	2						
		◎ 機械力学 I	2			2	2						
		機械力学演習	1			2	2						
		材料力学 II	2			2	2						
		熱力学 II	2			2	2						
		◎ 流体力学 I	2			2	2						
		流体力学演習	1			2	2						
		小 計	42		27	27	23	23	23	23	23	23	

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	伝熱工学演習	1					2	2				
		企業倫理	2						2	2			
		機械力学Ⅱ	2						2	2			
		産業経済論	2						2	2			
		◎ 制御基礎理論	2						2	2			
		制御基礎理論演習	1						2	2			
		◎ 設計製図	2						4	4			
		伝熱工学	2						2	2			
		流体力学Ⅱ	2						2	2			
		インターンシップ（機械・システム）	1						2			集中講義	
		◎ 知能システム学実験	2						3	3	3		
		知的財産権	2							2	2		
		技術英語（機械系）	2						2	2			
		キャリア形成セミナー（機械・システム）	1						2	2			
		◎ メカトロ・人工知能工学	2						2	2			
		◎ ロボット・生体工学	2						2	2			
		制御・福祉工学	2						2	2			
		流体工学	2						2	2			
		船舶性能入門	2						2	2			
		海洋工学入門	2						2	2			
		エネルギーシステム工学	2						2	2			
		工場管理	2							2	2		
		◎ 卒業研究	6										
小 計			46					25	23	19	19	4	
小 計			88			27	27	23	23	25	23	19	
総 計			207	28	28	80	74	31	31	33	33	35	
				26	26	4	4	2	2				

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】83単位以上

工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位

専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

### 卒業研究履修要件

#### 【共通教育科目】

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】

工学共通基礎科目 ..... 必修14卖位を含む14卖位

専門入門科目 ..... 8単位以上

専門基礎科目 ..... 必修科目14卖位を含む26単位以上。ただし、「機械製作実習」及び「CAD実習」を含むこと。

専門応用科目 ..... 「卒業研究」以外で、「設計製図」「知能システム学実験」を含む20単位以上

## 知能システム学コース

1年前期

1年後期

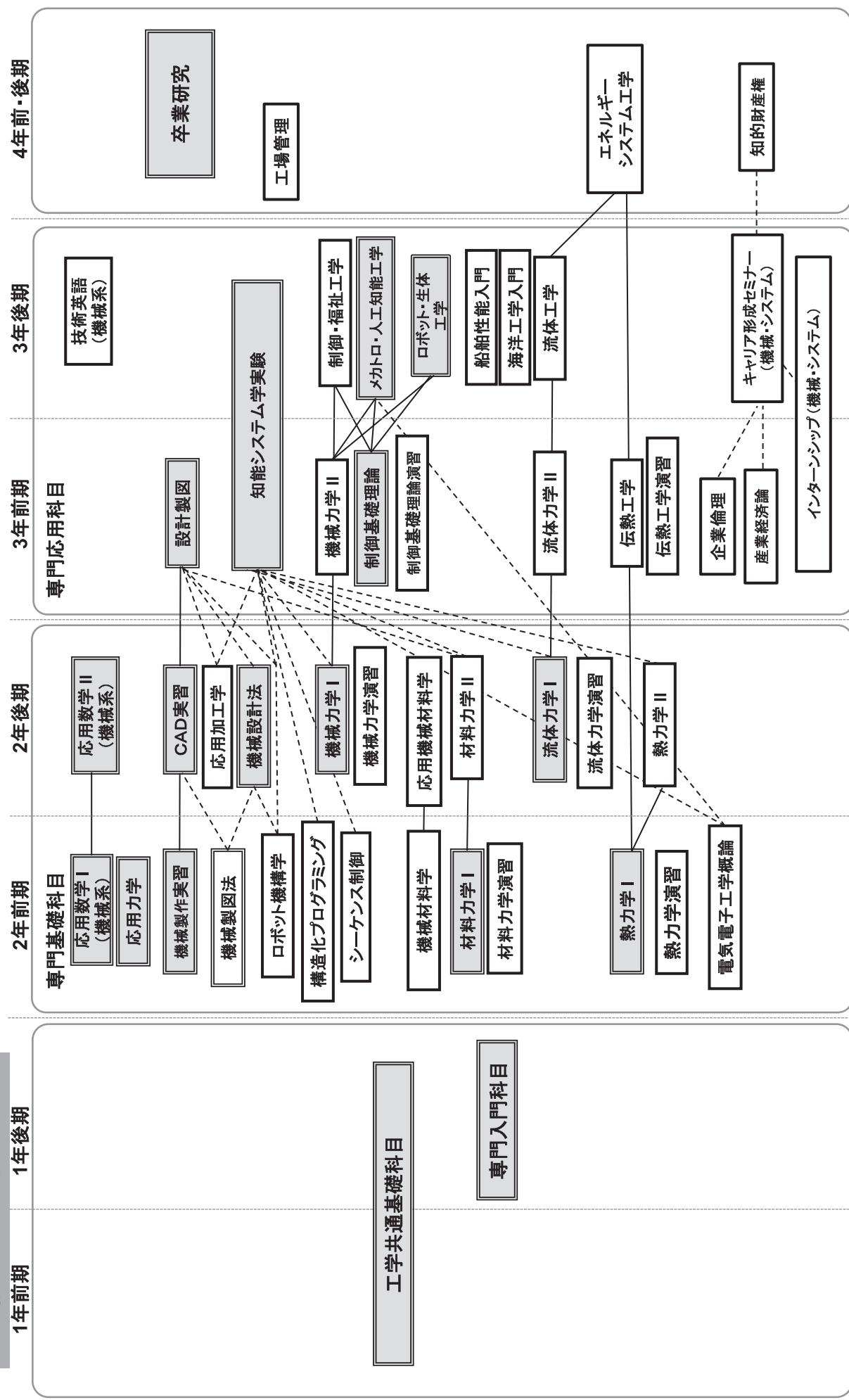
2年前期

2年後期

3年前期

3年後期

4年前・後期



# 電気電子工学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 科 目	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
	支 援 科 目	◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 科 目 考 査	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 員 資 格 有 する 許	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
	小 計		14				4	4	8	8	8	8	4
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1						2				
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1							2			
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	3

分類	必修	科目名	単位数	週授業時数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
専門入門科目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	システム・デザイン・材料学系	機械とものづくり	2	2	2								
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2	2	2								
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2	2	2								
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2	2	2								
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2	2	2								
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2	2	2								
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2	2	2								
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2	2	2								
		情報システム概論	2		2	2							
専門教育科目	数理系	情報数学	2	2	2								
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2	2	2								
	化学系	プロテオサイエンス入門	2	2	2								
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2	2	2								
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2	2	2								
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習Ⅰ	2	2	2								
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2	2	2								
	小計		62	62	62								
専門基礎科目	(◎)	電気電子数学Ⅰ	2		2	2							
		電気電子数学Ⅱ	2			2	2						
		微分方程式	2		2	2							
		電気磁気学Ⅰ	2		2	2							
		電気磁気学Ⅱ	2			2	2						
		電気回路Ⅰ	2		2	2							
		電気回路Ⅱ	2			2	2						
		過渡現象	2			2	2						
		デジタル電子回路	2			2	2						
		アナログ電子回路	2			2	2						
		電子物性	2			2	2						
		情報理論(電気)	2			2	2						
		電子デバイス	2		2	2							
		通信工学概論	2		2	2							
		プログラミング演習	1		4								
		デジタルテクノロジー演習	1			4							
		電気電子工学実験Ⅰ	2			4	4						
	小計		32		16	16	20	20					

追加：「放電物理」(専門基礎科目選択 2年前学期開講)

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	アナログ通信	2					2	2				
		制御工学	2					2	2				
		発変電工学	2					2	2				
		半導体工学	2					2	2				
		電気機器 I	2					2	2				
		電気電子計測	2					2	2				
		◎ 電気電子工学演習 I	1					2	2				
		◎ 電気電子工学実験 II	2					4	4				
		インターンシップ（電気）	1					2				集中講義	
		◎ キャリアデザイン	2					2	2	2	2		
		電磁波工学	1					2					
		パワーエレクトロニクス	2					2	2				
		高電圧 <del>プラズマ</del> 工学	2					2	2				
		デジタル通信	2					2	2				
		電気機器 II	2					4					
		電気機器設計製図	2					4					
		◎ 電気電子工学演習 II	1					2	2				
		◎ 電気電子工学実験 III	2					4	4				
		電気法規及び施設管理	2					2	2				
		電波及び通信法規	2					2	2				
		送配電工学	2					2	2				
		無線工学	1					2					
		知的財産権	2					2	2				
		工場管理	2							2	2		
		企業倫理	2							2	2		
		産業経済論	2							2	2		
		◎ 卒業研究	6										
小 計			53					24	22	24	24	22	
小 計			81			16	16	16	16	24	22	24	
総 計			204	28	28	80	74	20	20	30	30	34	
								32	31	31	31	22	
								26	6	6	6		

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

追加：「**プラズマエレクトロニクス**」

#### 卒業要件（計124単位以上）

【共通教育科目】41単位以上

（専門応用科目選択 3年後学期開講）

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

【専門教育科目】83単位以上

工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位

専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

#### 卒業研究履修要件

【共通教育科目】

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

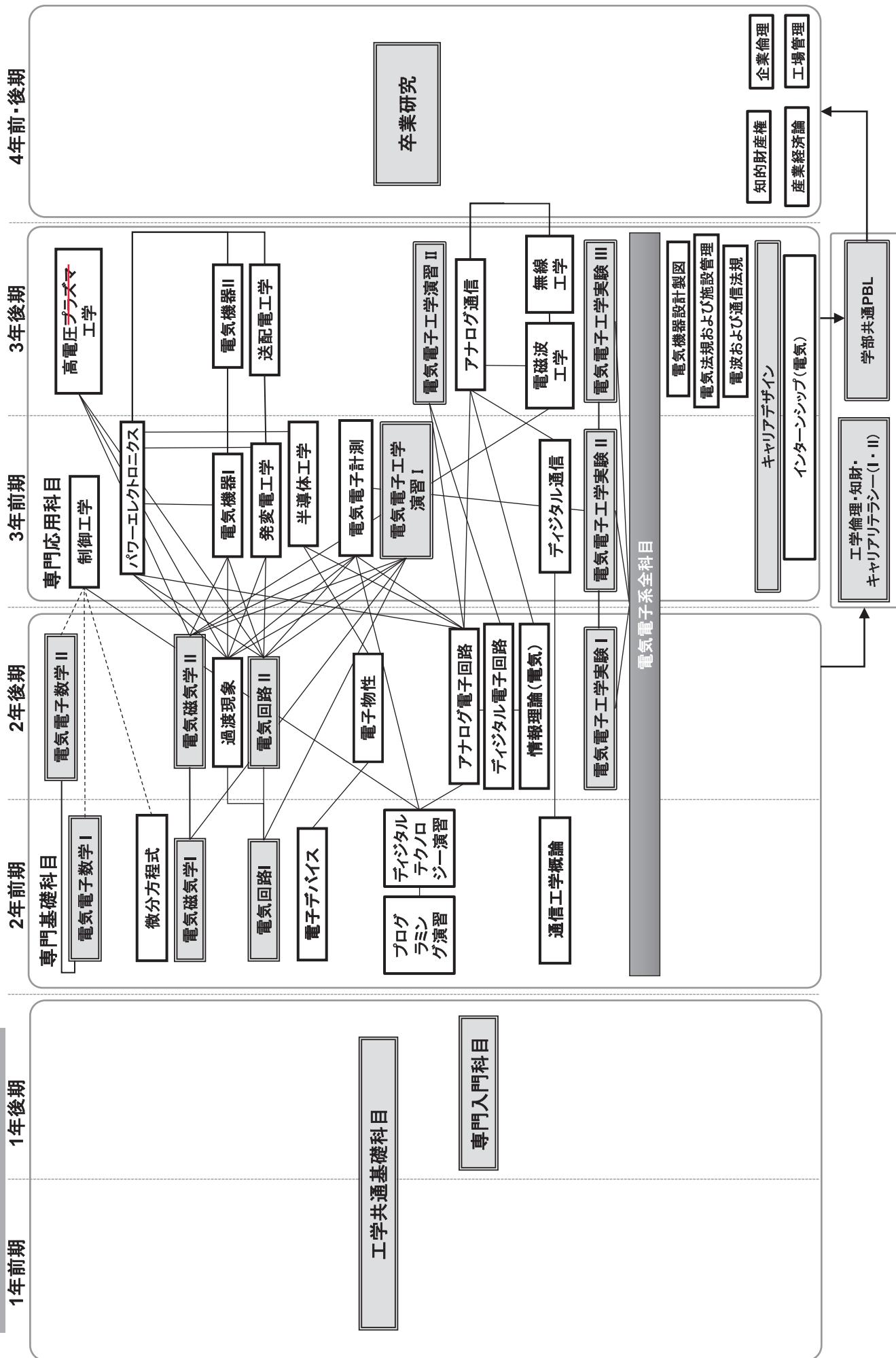
【専門教育科目】

工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位

専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 「卒業研究」以外の必修科目すべてを含む44単位以上

## 電気電子工学コース



# コンピュータ科学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 来 科 思 目 考	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
		◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 来 科 思 目 考	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型 科 目						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 科 目 す る 許 可 さ れ る 教 科 目	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
		小 計	14				4	4	8	8	8	4	
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1						2				
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1							2			
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	材料学系・デザイン・	機械とものづくり	2	2	2								
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2		2	2							
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2		2	2							
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2	2	2								
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2							
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2	2	2								
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2		2	2							
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2							
		情報システム概論	2		2	2							
	数理系	情報数学	2	2	2								
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2		2	2							
	化学系	プロテオサイエンス入門	2	2	2								
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2		2	2							
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2	2	2								
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習Ⅰ	2		2	2							
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小 計			62	62	62	62	62	62	62	62	62	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	◎ C プログラミング演習	1		2	2							
		データ構造とアルゴリズム	2		2	2							
		応用数学Ⅰ	2		2	2							
		◎ C プログラミング	2		2	2							
		論理回路	2		4								
		計算機システムⅠ	2			4							
		情報と職業	2		2	2							
		◎ 情報理論（情報）	2		2	2							
		数値解析	2		2	2							
		◎ 数値最適化	2		2	2							
		統計解析	2		2	2							
		◎ 情報工学実験Ⅰ	1			4							
		オートマトンと言語理論	2			2	2						
		オブジェクト指向プログラミング	2			2	2						
		◎ ソフトウェア工学Ⅰ	2			2	2						
		応用数学Ⅱ	2			2	2						
		計算機システムⅡ	2			2	2						
		知識工学	2			2	2						
		◎ 機械学習Ⅰ	2			2	2						
		離散最適化	2			2	2						

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門基礎科目		応用解析学	2			2	2						
		関数型プログラミング	2			2	2						
		画像情報工学	2			2	2						
	◎	情報工学実験Ⅱ	1				4						
		小 計	45			22	22	26	26				
専門教育科目	◎	情報工学実験Ⅲ	1					4					
		ウェブプログラミング	2					2	2				
		オペレーティングシステム	2					2	2				
		データベース	2					2	2				
	◎	PBL演習Ⅰ	1					2	2				
		応用数学Ⅲ	2					2	2				
		機械学習Ⅱ	2					2	2				
		知的財産権	2						2	2			
		インターンシップ(情報)	1					2				集中講義	
	◎	情報工学実験Ⅳ	1					4					
	◎	情報工学実験Ⅴ	1						4				
		コンパイラ	2					2	2				
		システム制御工学	2					2	2				
		機械学習Ⅲ	2					2	2				
	◎	サイバーセキュリティ	2					2	2				
		時系列データ解析	2					2	2				
		組込みシステム開発基礎	2					2	2				
		並列分散処理	2					2	2				
		産業経済論	2					2	2				
		企業倫理	2					2	2				
		ヒューマンコンピュータインターフェイクション	2						2	2			
	◎	卒業研究	6										
		小 計	43					22	20	18	14	4	
		小 計	88			22	22	26	26	22	20	18	
		総 計	207	28	28	80	74	26	26	36	36	32	

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

#### 卒業要件（計124単位以上）

##### 【共通教育科目】41単位以上

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。(ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。)

##### 【専門教育科目】83単位以上

- 工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

#### 卒業研究履修要件

##### 【共通教育科目】

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。(ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。)

##### 【専門教育科目】

- 工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 「卒業研究」以外の必修科目すべてを含む49単位以上

## コンピュータ科学コース

1年前期 1年後期

2年前期 2年後期

3年前期

4年前・後期

3年後期

### 専門基礎科目

Cプログラミング

Cプログラミング演習

オブジェクト指向  
プログラミング

関数型プログラミング

情報工学  
実験 I

情報工学  
実験 II

PBL 演習 I

ソフトウェア工学 I

画像情報工学

オートマトンと言語理論

情報理論(情報)

計算機システム I

論理回路

データ構造と  
アルゴリズム

統計解析

離散最適化

知識工学

機械学習 I

応用数学 I

応用数学 II

応用数学 III

機械学習 II

機械学習 III

時系列データ解析

システム制御工学

インターナシップ(情報)

産業経済論

企業倫理

情報と職業

### 専門応用科目

ウェブプログラミング

情報工学  
実験 III

情報工学  
実験 IV

情報工学  
実験 V

PBL 演習 II

並列分散処理

コンパイラ

データベース

オペレーティング  
システム

サイバーセキュリティ

組込みシステム  
開発基礎

機械学習 I

応用解析学

応用数学 II

応用数学 III

機械学習 II

応用数学 IV

機械学習 III

システム制御工学

インターナシップ(情報)

産業経済論

企業倫理

情報と職業

知的財産権

工学倫理・知財・  
キャリアテクニー(Ⅰ・Ⅱ)

学部共通PBL

→

↑

# 応用情報工学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q 1Q	後 2Q 2Q	前 3Q 2Q	後 4Q 3Q	前 1Q 3Q	後 2Q 4Q	前 1Q 2Q	後 2Q 3Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 科 目	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
	教育 科 目	◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 科 目	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 員 登 録 す る 可 能 性	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
	小 計		14			4	4	8	8	8	8	4	
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1					2					
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1						2				
		◎ 学部共通PBL	2						3	3			
		小 計	16	8	8	8	2		2	2	3	3	

分類	必修	科目名	単位数	週 授業 時 数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専門入門科目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	システム・デザイン・材料系	機械とものづくり	2	2	2								
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2	2	2								
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2	2	2								
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2	2	2								
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2	2	2								
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2	2	2								
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2	2	2								
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2	2	2								
		情報システム概論	2		2	2							
	数理系	情報数学	2	2	2								
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2		2	2							
	化学系	プロテオサイエンス入門	2	2	2								
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2	2	2								
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2	2	2								
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習Ⅰ	2	2	2								
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小計		62	62	62	62							
専門基礎科目		◎ C プログラミング演習	1		2	2							
		◎ データ構造とアルゴリズム	2		2	2							
		応用数学Ⅰ	2		2	2							
		◎ C プログラミング	2		2	2							
		◎ 論理回路	2		4								
		◎ 計算機システムⅠ	2			4							
		情報と職業	2		2	2							
		◎ 情報理論（情報）	2		2	2							
		統計解析	2		2	2							
		◎ 知的グループワーク演習	1		2							集中講義	
		◎ マーケティングとビジネスモデル	1			2						集中講義	
		◎ 最新ICTビジネス・技術動向A	1			2						集中講義 ※3年次の最新ICTビジネス・技術動向Bの履修条件	
		オブジェクト指向プログラミング	2			2	2						
		◎ ソフトウェア工学Ⅰ	2			2	2						
		応用数学Ⅱ	2			2	2						
		◎ 計算機システムⅡ	2			2	2						
		知識工学	2			2	2						
		機械学習Ⅰ	2			2	2						
		離散最適化	2			2	2						
		◎ システムプログラミング	2			2	2						
		◎ デザイン思考	1			2						集中講義	
		小計	37		24	18	18	16					

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	◎ プロジェクトマネジメント	1					2					
		◎ PBL演習Ⅰ	1					2	2				
		◎ ウェブプログラミング	2					2	2				
		◎ オペレーティングシステム	2					2	2				
		◎ データベース	2					2	2				
		応用数学Ⅲ	2					2	2				
		知的財産権	2						2	2			
		インターンシップ（情報）	1					2				集中講義	
		技術マネジメント	1					2					
		◎ 最新ICTビジネス・技術動向B	1					2				※最新ICTビジネス・技術動向Aの単位取得者のみ履修可能	
		◎ サービス指向アーキテクチャ	1					2					
		◎ ソフトウェア工学Ⅱ	1					2					
		◎ PBL演習Ⅱ	1					2	2				
		◎ サイバーセキュリティ	2					2	2				
		時系列データ解析	2					2	2				
		組込みシステム開発基礎	2					2	2				
		◎ 並列分散処理	2					2	2				
		産業経済論	2					2	2				
		企業倫理	2					2	2				
		◎ 卒業研究	6										
		小計	36					22	14	12	12	22	
		小計	73			24	18	18	16	22	14	12	
		総計	192	28	28	80	74	28	22	28	26	32	

※2年次の最新ICTビジネス・技術動向Aの単位を取得していない場合、3年次で最新ICTビジネス・技術動向Bを履修することはできません。

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】83単位以上

- 工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

### 卒業研究履修要件

#### 【共通教育科目】

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】

- 工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 「卒業研究」以外の必修科目すべてを含む49単位以上

## 応用情報工学コース

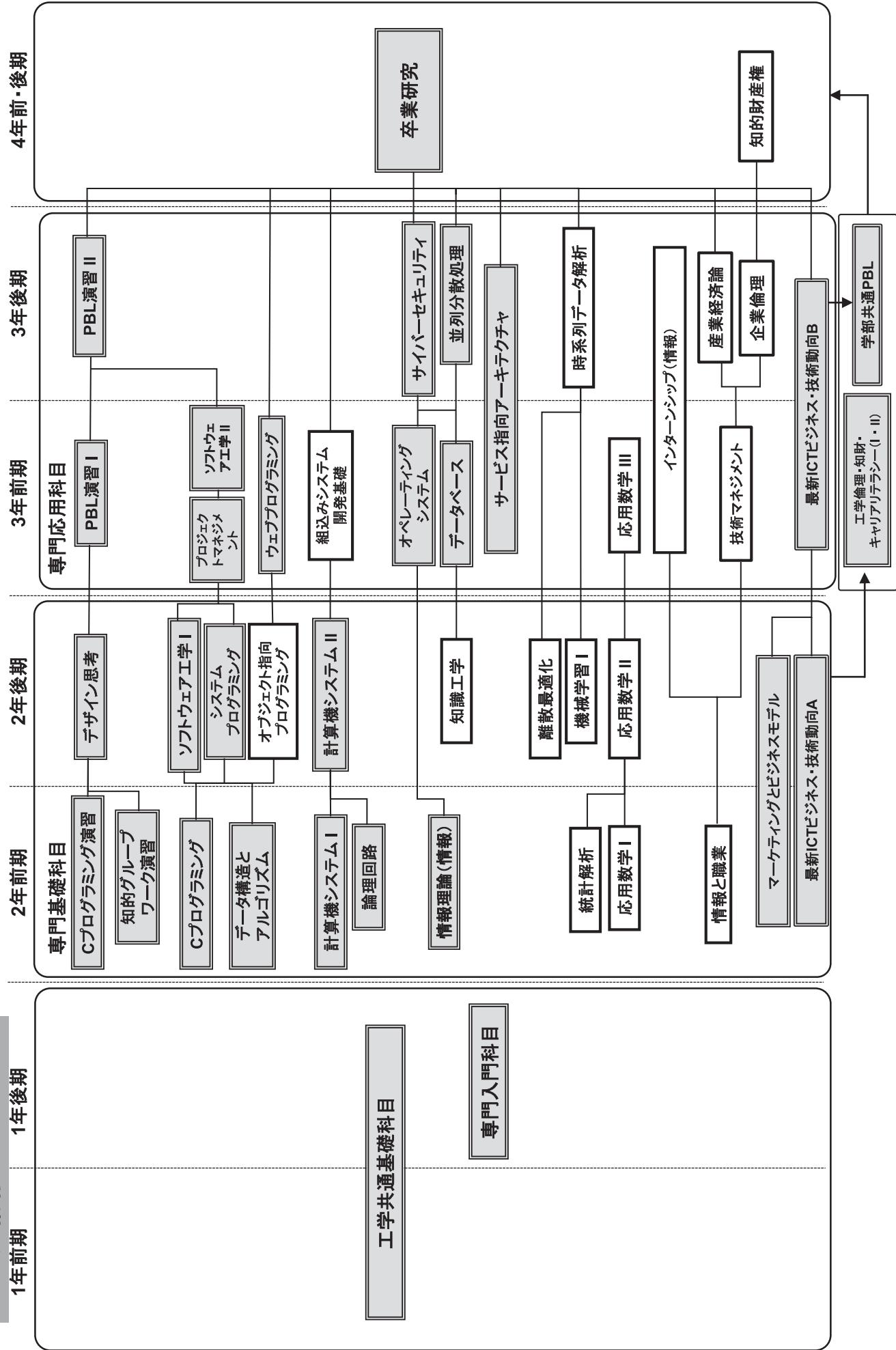
1年前期 1年後期

2年前期 2年後期

3年前期

3年後期

4年前・後期



# 材料デザイン工学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 来 科 思 目 考	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
		◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 来 科 思 目 考	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型 科 目						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 科 目 す る 許 可 さ れ る 教 科 目	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
		小 計	14				4	4	8	8	8	4	
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2						3Q または 4Q	
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1						2				
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1							2			
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	材料学系・デザイン・	機械とものづくり	2	2	2								
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2		2	2							
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2		2	2							
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2	2	2								
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2							
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2	2	2								
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2		2	2							
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2							
		情報システム概論	2		2	2							
	数理系	情報数学	2	2	2								
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2		2	2							
	化学系	プロテオサイエンス入門	2	2	2								
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2		2	2							
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2	2	2								
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習Ⅰ	2		2	2							
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小 計			62	62	62	62	62	62	62	62	62	62
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	◎ 化学実験	2			4	4						
		◎ 科学技術英語	1		2	2							
		◎ 実践力学	2		2	2							
		◎ 金属組織学Ⅰ	2		2	2							
		材料力学	2		2	2							
		電気電子回路	2		2	2							
		◎ 熱力学	2		2	2							
		◎ 微分方程式Ⅰ および同演習	3			4	4						
		◎ 材料物理化学Ⅰ	2			2	2						
		◎ 振動・波動	2			2	2						
		◎ 電磁気学Ⅰ および同演習	3			4	4						
		◎ 金属強度学	2			2	2						
		金属組織学Ⅱ	2			2	2						
		微分方程式Ⅱ	2			2	2						
		◎ 物理学実験	2			4	4						
		有機材料学	2			2	2						
		◎ 基礎量子論	1				2						
		電磁気学Ⅱ	1				2						
		◎ 固体物性工学Ⅰ	1					2					
		小 計	36			20	20	20	20	4	2		

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数												備 考		
				1年次				2年次				3年次						
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後			
専門教育科目		金属接合工学	1					2										
		インターンシップ（材料）	1						2								集中講義	
		材料物理化学Ⅱ	2						2	2								
		◎ 材料デザイン工学実験	2						4	4								
		機能材料特別講義	1							1	1							
		金属材料学	2						2	2								
		結晶回折学	2						2	2								
		セラミックス・ガラス材料学	2						2	2								
		鉄鋼・非鉄製鍊学	1						2									
		誘電体材料学	1							2								
		光材料学	1							2								
		電池材料学	1							2								
		固体物性工学Ⅱ	1							2								
		半導体材料学	1							2								
		磁性材料学	1							2								
		工場管理	2							2	2							
		産業経済論	2							2	2							
		知的財産権	2								2	2						
		企業倫理	2							2	2							
		キャリア形成セミナー（材料）	1							2								
		◎ 卒業研究	6															
		小 計	35						17	15	14	12	2	2				
		小 計	71			20	20	20	20	21	17	14	12	2	2			
		総 計	190	28	28	80	74	24	24	30	30	31	27	21	19	2	2	

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】83単位以上

工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位

専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

### 卒業研究履修要件

#### 【共通教育科目】

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】

工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位

専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 「卒業研究」以外の必修科目のうち25単位を含む45単位以上。ただし、「化学実験」、「物理学実験」、「材料デザイン工学実験」を含むこと。

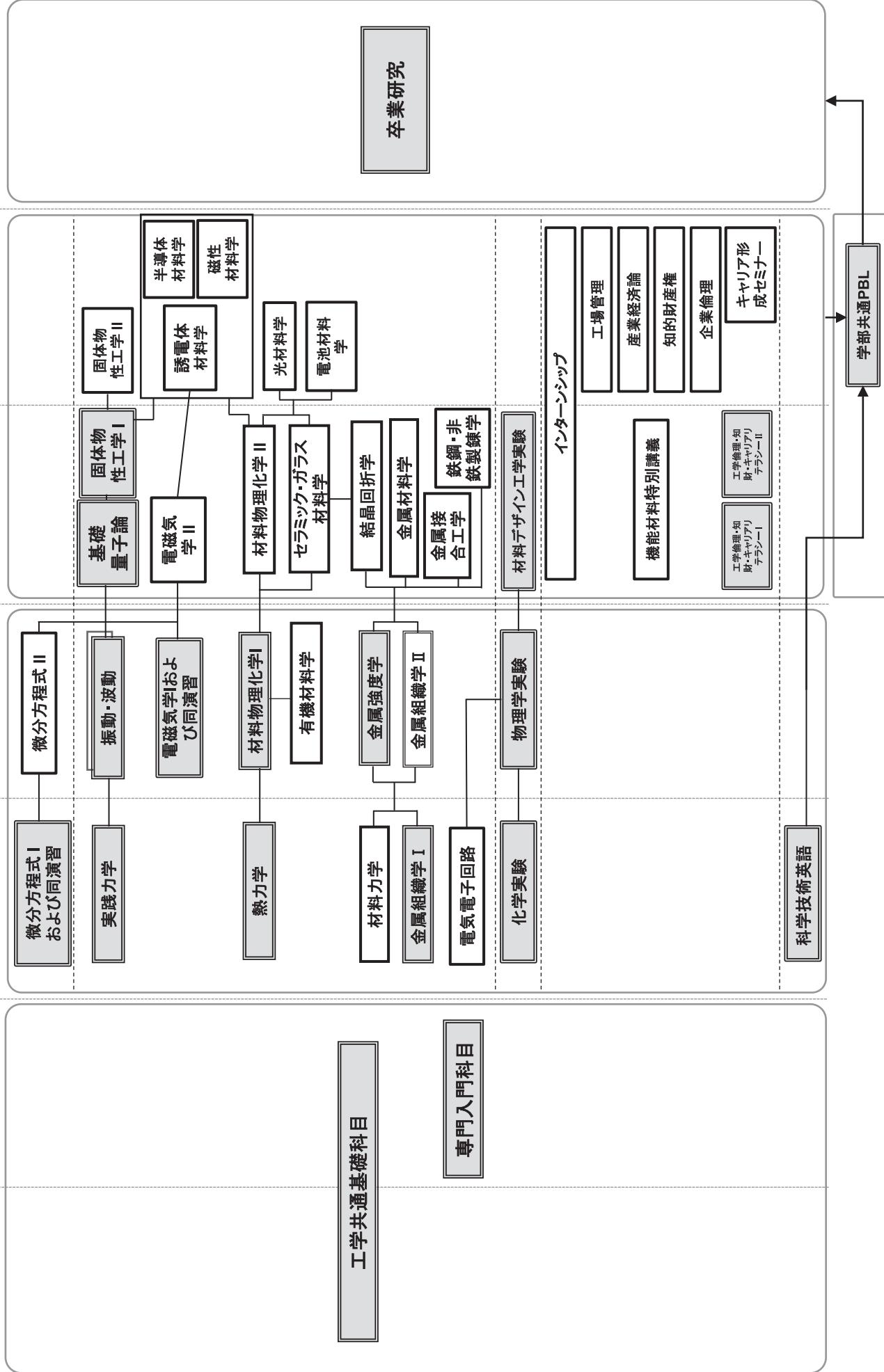
## 材料デザイン工学コース

1年前期 1年後期

2年前期 2年後期

3年前期 3年後期

4年前・後期



# 化学・生命科学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	单 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 来 科 思 目 考	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 来 科 思 目 考	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 員 目 する 許	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
	小 計		14			4	4	8	8	8	8	4	4
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1					2					
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1						2				
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	3

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数												備 考		
				1年次				2年次				3年次			4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2		2	2												
		連続体の力学	2		2	2												
		化学熱力学	2		2	2												
	材料・システム・デザイン系	機械とものづくり	2		2	2												
		産業基盤材料工学	2		2	2												
		機械と設計	2		2	2												
		無機材料化学	2		2	2												
		電気電子材料	2		2	2												
		機械加工学	2		2	2												
	電気系	基礎電磁気学	2		2	2												
		くらしの中の電気	2		2	2												
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2												
		生体医工学入門	2		2	2												
	情報学系	機械と制御	2		2	2												
		建設分野のデジタル技術	2		2	2												
		情報ネットワーク	2		2	2												
		コンピュータ工学入門	2		2	2												
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2												
		情報システム概論	2		2	2												
専 門 教 育 科 目	数理系	情報数学	2		2	2												
		材料数学	2		2	2												
		確率・統計学	2		2	2												
	化学系	プロテオサイエンス入門	2		2	2												
		基礎有機化学	2		2	2												
		有機工業化学入門	2		2	2												
		化学・生命科学概論	2		2	2												
	社会学系	持続可能な社会検討学	2		2	2												
		環境・エネルギー工学	2		2	2												
		実践英語演習Ⅰ	2		2	2												
		国土形成史	2		2	2												
		地球環境学	2		2	2												
	小 計			62		62	62											
専 門 基 礎 科 目	専 門 基 礎 科 目	◎ 応用化学実験Ⅰ	3			8	8											
		化学技術英語Ⅰ	2			2	2											
		基礎生物学	2			2	2											
		物理化学Ⅰ	2			2	2											
		分析化学Ⅰ	1			2												
		無機化学	2			2	2											
		有機化学Ⅰ	2			2	2											
		生化学Ⅰ	1				2											
		生化学Ⅱ	1					2										
		スペクトル解析演習	2						2									
	専 門 基 礎 科 目	◎ 応用化学実験Ⅱ	3			8	8											
		分析化学Ⅱ	1				2											
		化学技術英語Ⅱ	2					2										
		高分子化学Ⅰ	2						2									
		物理化学Ⅱ	2							2								
		有機化学Ⅱ	2								2							
		分子生物学Ⅰ 分子生物学	2									2						
	小 計			33			20	20	24	22								

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	化学工学Ⅰ	2					2	2				
		分子細胞生物学	1						2				
		有機化学Ⅲ	2					2	2				
		量子化学	2					2	2				
		インターンシップ(化学)	1						2			集中講義	
		(◎) 応用化学実験Ⅲ	3					8	8				
		化学技術英語Ⅲ	2					2	2				
		高分子化学Ⅱ	2					2	2				
		固体化学	2					2	2				
		電気化学	2					2	2				
		生物情報科学	2					2	2				
		遺伝子工学	1					2					
		化学工学Ⅱ	1						2				
		機器分析	2					2	2				
		生物工学	1						2				
		(◎) 化学・生命科学演習	1					2	2				
		高分子化学Ⅲ	2					2	2				
		錯体化学	2					2	2				
		有機化学Ⅳ	2					2	2				
		微生物学	2					2	2				
		地学Ⅱ	2					2	2			教育職員免許状取得希望者のみ履修可	
		合成生物学	1						2				
		(◎) 研究講読	2										
		(◎) 卒業研究	6										
小 計				46				32	26	16	14		
小 計				79		20	20	24	22	32	26	16	
総 計				198	28	28	80	74	24	24	34	32	
					42	42	36	23	21				

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】83単位以上

工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位

専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

ただし、専門基礎科目から必修6単位を含む20単位以上を取得すること。

\*卒業時に教育職員免許状「理科」を取得した場合に限り、「教育の基礎的理解に関する科目等」「地学Ⅱ」「理科教育法1」「理科教育法2」のうち10単位までを卒業に必要な専門基礎科目または専門応用科目に含めることができる。

### 卒業研究履修要件

#### 【共通教育科目】

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

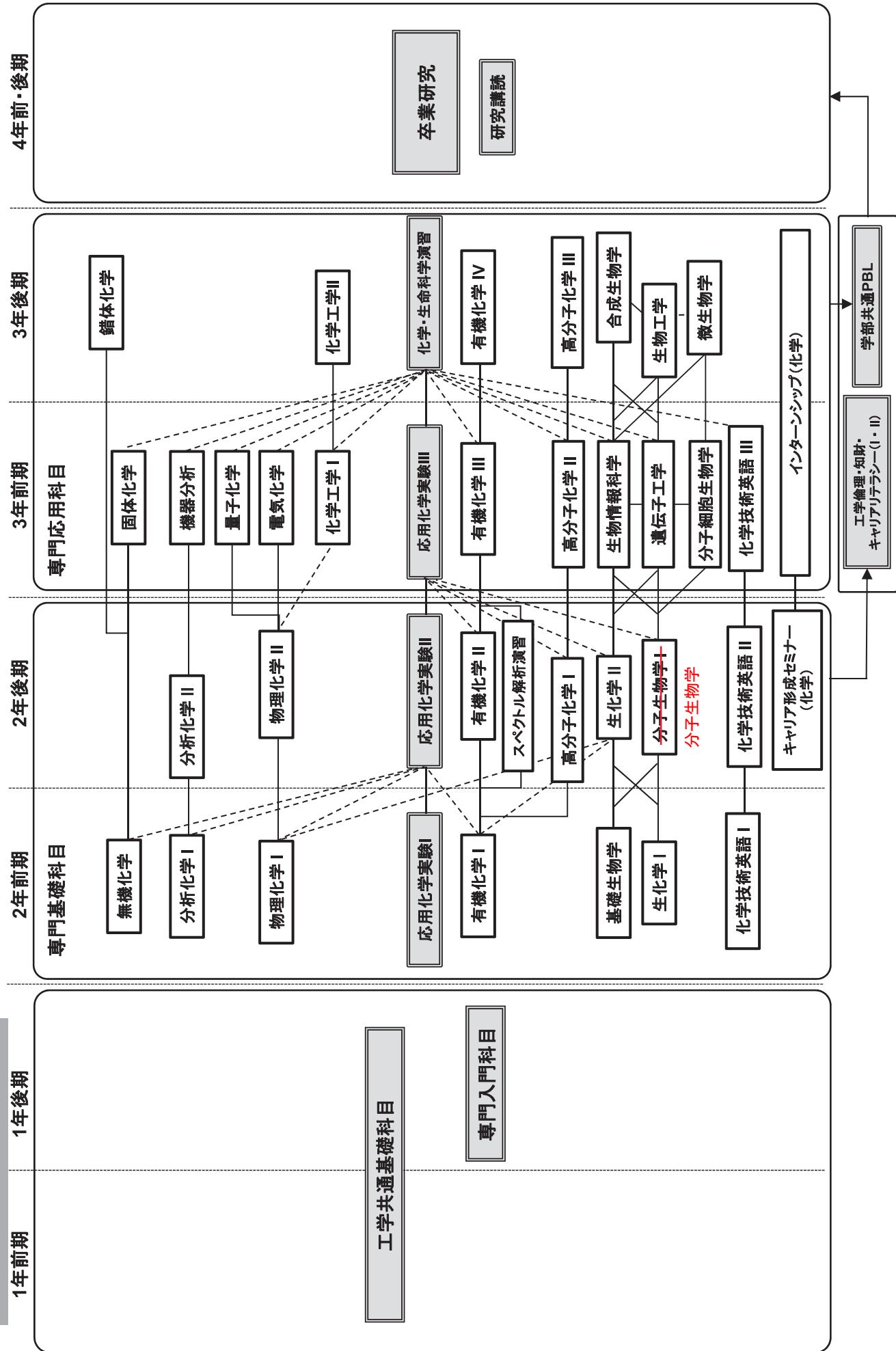
#### 【専門教育科目】

工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位

専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 「研究講読」「卒業研究」以外の必修科目すべてを含む39単位以上  
ただし、「物理化学Ⅰ」「分析化学Ⅰ」「無機化学」「有機化学Ⅰ」「生化学Ⅰ」から6単位以上を含むこと。

化学・生命科学コース



# 社会基盤工学コース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
	基礎 科 目	小 計	7	8	8								
		◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
	支 援 来 科 思 目 考	◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
		◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
専 門 教 育 科 目	支 援 来 科 思 目 考	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
	教 養 科 目	主 題 探 究 型						2	2	2	2		
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
	に教 員 目 する 許	スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
		小 計	14				4	4	8	8	8	4	4
専 門 教 育 科 目	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1						2				
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1							2			
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	3

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	材料・システム・デザイン系	機械とものづくり	2	2	2								
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2		2	2							
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2		2	2							
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2	2	2								
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2							
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2	2	2								
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2		2	2							
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2							
		情報システム概論	2		2	2							
専 門 教 育 科 目	数理系	情報数学	2	2	2								
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2		2	2							
	化学系	プロテオサイエンス入門	2	2	2								
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2		2	2							
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2	2	2								
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習Ⅰ	2		2	2							
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小 計		62	62	62	62							
専 門 基 礎 科 目	専 門 基 礎 科 目	◎ 建設材料学	2			4							
		◎ 構造力学Ⅰ及び同演習	2			6							
		◎ 応用数学Ⅰ(土木・環境系)	2		2	2							
		◎ 測量学	2		2	2							
		◎ 土質力学Ⅰ及び同演習	2			3	3						
		◎ 実践英語演習Ⅱ	2			1.5	1.5	1.5	1.5				
		◎ 水理学Ⅰ及び同演習	2			6							
		◎ 構造力学Ⅱ及び同演習	2			6							
		◎ 応用数学Ⅱ(土木・環境系)	2			2	2						
		◎ 測量学実習	1			3	3						
		◎ 地球生態学	2			2	2						
		◎ 土質力学Ⅱ及び同演習	2			3	3						
		◎ 土木計画学及び同演習	2			3	3						
		◎ 水理学Ⅱ及び同演習	2			6							
		小 計		27			18.5	14.5	20.5	20.5			

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	生態系保全工学	1					2					
		コンクリート構造工学	1					2					
		海岸工学	1					2					
		地盤工学	1					2					
		◎ 技術英語 I (土木・環境系)	2					2	2				
		橋梁デザインコンペティション	2					4	4				
		◎ 建設情報マネジメント	2					2	2				
		◎ 社会基盤工学実験	2					6	6				
		◎ 瀬戸内工学	2					2	2				
		技術学外実習	1					2					
		河川工学	1						2				
		建設技術マネジメント	1						2				
		国土のグランドデザイン	1						2				
		社会基盤材料工学	1						2				
		◎ 土木環境分野プロジェクト実習	2						3	3			
		土木事業における関連法令	2						2	2			
		海洋物理学	1						2				
		岩盤工学	1						2				
		交通計画	1						2				
		構造解析学	1						2				
		土木情報メンテナンス工学	1						2				
		防災工学	1						2				
		◎ 卒業研究	6										
小 計			35					26	16	13	17		
小 計			62					185	145	205	205		
総 計			181	28	28	80	74	225	185	305	305		
								36	26	20	24		

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】83単位以上

- 工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

### 卒業研究履修要件

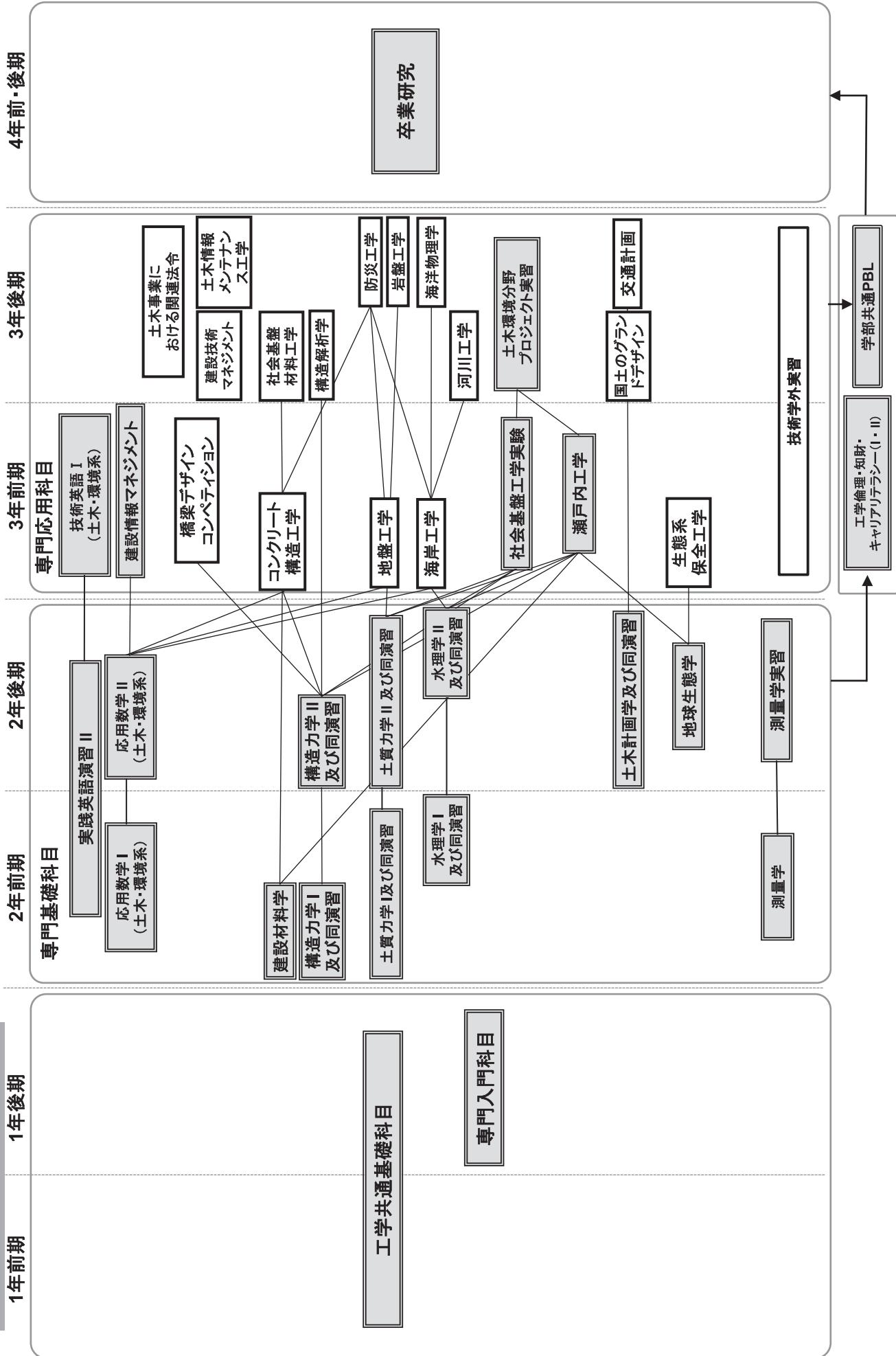
#### 【共通教育科目】

- 初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位
- 基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位
- 未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位
- 教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】

- 工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位
- 専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上
- 専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修24単位を含む49単位以上

社会基盤工学コース



# 社会デザインコース 年次別配当科目表

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q	前 1Q	後 2Q	前 3Q	後 4Q		
共 通 教 育 科 目	初 年 次 科 目	◎ 新入生セミナーA	2	2	2								
		◎ 新入生セミナーB	2	2	2								
		◎ こころと健康	2	2	2								
		◎ スポーツ	1	2	2								
		小 計	7	8	8								
	基礎 科 目	◎ 英語 I	1	4									
		◎ 英語 II	1		4								
		◎ 英語 III	1			4							
		◎ 英語 IV	1				4						
		◎ 微積分 I	4	4	4								
		◎ 微積分 II	2			2	2						
		◎ 線形代数 I	2	2	2								
		◎ 線形代数 II	2			2	2						
		◎ 情報リテラシー入門 I	1	2									
		◎ 情報リテラシー入門 II	1		2								
		◎ 社会力入門	1			2							
		◎ 知的財産入門	1			2							
		小 計	18	12	12	10	10						
	支 援 科 目 思 考 目 考	◎ Beyond SDGs	1				2						
		◎ 未来思考リテラシー	1					2					
		小 計	2				2	2					
専 門 教 育 科 目	教 養 科 目	主 題 探 究 型							2	2	2	2	
		総合分野											
		人文学分野											
		社会科学分野											
		自然科学分野											
		初修外国語											
		文系主題科目											
		理系主題科目											
		スポーツと教育											
		教職日本国憲法											
		小 計	14				4	4	8	8	8	8	4
	工 学 共 通 基 礎 科 目	◎ 化学基礎 I	1	2									
		◎ 物理基礎 I	1	2									
		◎ 工学リテラシー I	1	2									
		◎ 基礎情報科学	1	2									
		◎ 化学基礎 II	1		2								
		◎ 物理基礎 II	1		2								
		◎ 工学リテラシー II	1		2								
		◎ 基礎安全学	1		2								
		◎ 学部共通実験	1			4							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー III	1			2							
		◎ 工学コミュニケーション	1			2							3Q または 4Q
		◎ 工学リテラシー IV	1			2							
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー I	1						2				
		◎ 工学倫理・知財・キャリアーリテラシー II	1							2			
		◎ 学部共通PBL	2							3	3		
		小 計	16	8	8	8	2			2	2	3	3

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q	前 1Q	後 2Q		
専 門 入 門 科 目	力学系	機械基礎力学	2	2	2								
		連続体の力学	2		2	2							
		化学熱力学	2		2	2							
	材料・システム・デザイン系	機械とものづくり	2	2	2								
		産業基盤材料工学	2		2	2							
		機械と設計	2		2	2							
		無機材料化学	2		2	2							
		電気電子材料	2		2	2							
		機械加工学	2		2	2							
	電気系	基礎電磁気学	2	2	2								
		くらしの中の電気	2		2	2							
		デジタルテクノロジー入門	2		2	2							
		生体医工学入門	2		2	2							
	情報学系	機械と制御	2	2	2								
		建設分野のデジタル技術	2		2	2							
		情報ネットワーク	2		2	2							
		コンピュータ工学入門	2		2	2							
		ビジュアルコンピューティング	2		2	2							
		情報システム概論	2		2	2							
専 門 教 育 科 目	数理系	情報数学	2	2	2								
		材料数学	2		2	2							
		確率・統計学	2		2	2							
	化学系	プロテオサイエンス入門	2	2	2								
		基礎有機化学	2		2	2							
		有機工業化学入門	2		2	2							
		化学・生命科学概論	2		2	2							
	社会学系	持続可能な社会検討学	2	2	2								
		環境・エネルギー工学	2		2	2							
		実践英語演習Ⅰ	2		2	2							
		国土形成史	2		2	2							
		地球環境学	2		2	2							
	小 計		62	62	62	62							
専 門 基 礎 科 目		◎ 建設材料学	2			4							
		◎ 構造力学Ⅰ及び同演習	2			6							
		応用数学Ⅰ(土木・環境系)	2		2	2							
		公共ガバナンス論	2		4								
		◎ 社会資本の整備と運用	2		2	2							
		測量学	2		2	2							
		◎ 土質力学Ⅰ及び同演習	2		3	3							
		◎ 実践英語演習Ⅱ	2			15	15	15	15				
		◎ 水理学Ⅰ及び同演習	2			6							
		構造力学Ⅱ及び同演習	2				6						
		応用数学Ⅱ(土木・環境系)	2				2	2					
		測量学実習	1				3	3					
		◎ 地域社会デザイン演習	2				4	4					
		◎ 地球生態学	2				2	2					
		社会心理学	2				4						
		土質力学Ⅱ及び同演習	2				3	3					
		◎ 土木計画学及び同演習	2				3	3					
		水理学Ⅱ及び同演習	2					6					
		小 計	35			24.5	16.5	28.5	24.5				

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専門教育科目	専門応用科目	生態系保全工学	1					2					
		コンクリート構造工学	1					2					
		海岸工学	1					2					
		地盤工学	1					2					
		◎ 技術英語 I (土木・環境系)	2					2	2				
		橋梁デザインコンペティション	2					4	4				
		◎ 建設情報マネジメント	2					2	2				
		社会基盤工学実験	2					6	6				
		◎ 四国学	2					2	2				
		◎ 住民参加と合意形成	2					4					
		技術学外実習	1					2					
		河川工学	1						2				
		建設技術マネジメント	1						2				
		国土のグランドデザイン	1						2				
		社会基盤材料工学	1						2				
		景観デザイン	2						4				
		◎ 技術英語 II (土木・環境系)	2					2	2				
		地域デザイン論	2					2	2				
		◎ 土木環境分野プロジェクト実習	2						3	3			
		土木事業における関連法令	2						2	2			
		岩盤工学	1						2				
		交通計画	1						2				
		構造解析学	1						2				
		土木情報メンテナンス工学	1						2				
		防災工学	1						2				
		◎ 卒業研究	6										
		小 計	42					30	16	21	19		
		小 計	77			24.5	16.5	28.5	24.5	30	16	21	19
		総 計	196	28	28	82	76	28.5	20.5	38.5	34.5	40	26

※P16記載の全教育コースに共通する注記事項も必ず確認すること

### 卒業要件（計124単位以上）

#### 【共通教育科目】41単位以上

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 14単位以上。ただし、主題探求型科目2単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】83単位以上

工学共通基礎科目 ..... 必修16単位を含む16単位

専門科目（専門入門科目） ..... 10単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修科目を含む57単位以上

### 卒業研究履修要件

#### 【共通教育科目】

初年次科目 ..... 必修7単位を含む7単位

基礎科目 ..... 必修18単位を含む18単位

未来思考支援科目 ..... 必修2単位を含む2単位

教養科目 ..... 13単位以上。ただし、主題探求型科目1単位およびその他の教養科目の中から12単位を含むこと。（ただし、その他の教養科目では「工学入門」を除く。）

#### 【専門教育科目】

工学共通基礎科目 ..... 必修14単位を含む14単位

専門科目（専門入門科目） ..... 8単位以上

専門科目（専門基礎科目、専門応用科目） ..... 必修18単位を含む49単位以上

## 社会デザインコース

1年前期

2年前期

3年前期

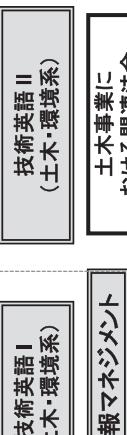
4年前後期

4年前・後期

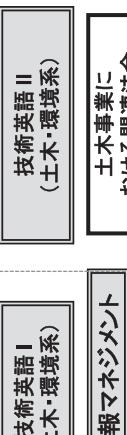
### 専門基礎科目



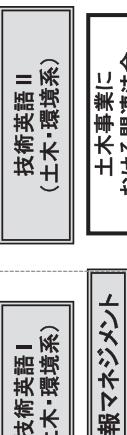
### 専門応用科目



### 専門入門科目



### 工学共通基礎科目



## 5. 「教育職員免許状（教員免許）」

教育職員免許状（以下、「教員免許」という）を取得するためには、「基礎資格」と教育職員免許法等で規定された科目的修得が必要です。詳細については、「教職履修の手引」を確認してください。また、「教職履修ガイダンス」が前学期に開講されますので、掲示を確認のうえ必ず受講してください。

工学部で取得できる教員免許の種類・教科は（表 1）の通りです。在学生が卒業時に取得する教員免許の授与申請については大学で一括申請します。掲示の通知に注意してください。

### 5. 1 基礎資格及び修得すべき単位数

教員免許を取得するためには、教育職員免許法等で規定された「資格」と「単位」が必要です。

高等学校教諭一種免許状（以下、「高一種免」という）の取得に必要な本学部で取得すべき単位数は、次表のとおりです。

表 1 基礎資格及び修得すべき単位数

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数					
		教育の基礎的理解に関する科目等			教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	文部科学省令で定める科目
		教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目			
高等学校教諭一種免許状（高一種免） 理 科	学士の学位を有すること	10 単位	9 単位	5 単位	24 単位	11 単位	8 単位
高等学校教諭一種免許状（高一種免） 情 報		10 単位	9 単位	5 単位	26 単位	9 単位	8 単位
高等学校教諭一種免許状（高一種免） 工 業		10 単位	9 単位	5 単位	24 単位	11 単位	8 単位

### 5. 2 単位の修得方法

教育職員免許法等で規定された「教育の基礎的理解に関する科目等」、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」及び「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（文部科学省令で定める科目）」の単位は、次表のとおり修得してください。なお、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「各教科の指導法」、「教職日本国憲法」及び「スポーツと教育」は、1 年次前学期開催の「教職履修ガイダンス」に出席していることを履修条件とします。

ただし、前学期に開講される「教育の基礎的理解に関する科目等」については、開講中「教職履修ガイダンス」に出席することで、履修条件を満たしたこととします。

表 2-1 免許状の種類と修得方法

免許状の種類	科目の区分	修 得 方 法
高一種免「理科」「情報」「工業」	教育の基礎的理解に関する科目等	表 2-2
	教科及び教科の指導法に関する科目	表 2-3「理科」 表 2-4「情報」 表 2-5「工業」
	大学が独自に設定する科目	表 2-6
	教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（文部科学省令で定める科目）	表 2-7

表 2-2 教育の基礎的理 解に関する科目等（理科・情報・工業）

区分	科目名	必要単位数	開講学年・クオーター								ポート フォリオ 【注3】	備考	
			高校	1年		2年		3年		4年			
		一種	前	後	前	後	前	後	前	後	前		
教育の基礎的理 解に関する科目	教育原論	2			2						◎		
	教職基礎論	2		2							◎		
	教育制度論	2			2						◎		
	発達と学習	2			2						◎		
	特別支援教育の基礎・基本	2						2			◎		
道徳、総合的な学 習の時間等の指導 法及び生徒指導、 教育相談等に 関する科目	総合的な学習の時間の指導法	1					1				◎		
	教育とICT活用	1					1				◎		
	特別活動論	1						1			◎		
	教育の課程と方法	2						2			◎		
	生徒指導・進路指導論	2						2			◎		
	教育相談論	2						2			◎		
教育実践に 関する科目	教育実習事前・事後指導	1							1		○		
	教育実習4	2							2		○	【注1】2週間(60時間)	
	教職実践演習(中・高)	2							2			【注2】	
必要単位数の合計		24											

【注1】教育実習希望者は、次の要件を満たしていることが必要です。

- ①「教育実習事前指導」を受講していること。
- ②開講されている「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）、教育の基礎的理 解に関する科目等」をすべて修得していることが望ましい。
- ③当該年度に卒業が可能であること。
- ④卒業時に教育職員免許状の取得が可能であること。
  - ・教育実習は愛媛大学附属高等学校・出身高等学校又は実習協力校で行います。

【注2】教職実践演習の履修条件については、5.3「教職実践演習」の説明を参照してください。

【注3】修得した科目についてポートフォリオ（ラーニング・ログ◎、プラクティス・ログ○）を作成する必要があります。

※高一種免（工業）の「工業科教育法1・2、教育の基礎的理 解に関する科目等」の全部又は一部の単位は、当該教科の「教科に関する専門的事項」の単位で代替することができます。

詳細は、教育支援課に問い合わせてください。

表 2-3 「理科」の教科及び教科の指導法に関する科目

事 項		授業科目名	単位数	必修 選択必修
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理基礎Ⅰ 物理基礎Ⅱ	1 1
		化学	物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 物理化学Ⅱ 量子化学 無機化学 有機化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 高分子化学Ⅰ 機器分析 錯体化学 電気化学 有機化学Ⅳ 高分子化学Ⅱ 高分子化学Ⅲ	2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
		生物学	基礎生物学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 分子生物学 分子細胞生物学	2 1 1 2 1
		地学	地学Ⅱ	2
		「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験」	応用化学実験Ⅰ 応用化学実験Ⅱ 応用化学実験Ⅲ	3 3 3
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	理科教育法1(2年前) 理科教育法2(2年後)	2 2
		必要な単位数	上記授業科目から24単位以上	

※上記授業科目から24単位以上取得すること。ただし、◎がついている科目は必ず含むこと。

※「教科に関する専門的事項」の必要単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」に充てることができます。

※修得した「各教科の指導法」から4単位、「教科に関する専門的事項」から16単位以上  
(◎がついている科目を必ず含む) のラーニング・ログを作成する必要があります。

**表 2-4 「情報」の教科及び教科の指導法に関する科目**

事 項		授業科目名	単位数	必修 選択必修
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	サイバーセキュリティ 情報と職業	2 2
		コンピュータ・情報処理	計算機システム I C プログラミング演習 情報工学実験 II システムプログラミング C プログラミング 数値最適化 データ構造とアルゴリズム 論理回路 計算機システム II 情報数学	2 1 1 2 2 2 2 2 2
		情報システム	データベース 情報工学実験 I オペレーティングシステム 組込みシステム開発基礎	2 1 2 2
		情報通信ネットワーク	情報ネットワーク 情報理論（情報） 並列分散処理	2 2 2
		マルチメディア表現・ マルチメディア技術	画像情報工学 ビジュアルコンピューティング 情報工学実験 IV ヒューマンコンピュータインターラクション	2 2 1 2
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	情報科教育法 1 (3年前) 情報科教育法 2 (3年後)	2 2
		必要な単位数	上記授業科目から 26 単位以上	

※上記授業科目から 26 単位以上取得すること。ただし、◎がついている科目は必ず含むこと。

※「教科に関する専門的事項」の必要単位数を超えて修得した単位は「大学が独自に設定する科目」に充てることができます。

※修得した「各教科の指導法」から 4 単位、「教科に関する専門的事項」から 16 単位以上 (◎がついている科目を必ず含む) のラーニング・ログを作成する必要があります。

表 2-5 「工業」の教科及び教科の指導法に関する科目

事 項		授業科目名	単位数	必修 選択 必修	授業科目名	単位数	必修 選択 必修
教科 及び 教科の 指導法 に関する 専門的 事項	工業の関係科目	工学リテラシーⅠ	1	◎	電気磁気学Ⅰ	2	
		工学リテラシーⅡ	1	◎	電気磁気学Ⅱ	2	
		化学基礎Ⅰ	1		電気電子工学演習Ⅰ	1	
		化学基礎Ⅱ	1		電気電子工学演習Ⅱ	1	
		基礎安全学	1		過渡現象	2	
		基礎情報科学	1		アナログ電子回路	2	
		機械製作実習	1		ディジタル電子回路	2	
		CAD実習	1		電気電子計測	2	
		設計製図	2		制御工学	2	
		機械工学実験	2		プログラミング演習	1	
		材料力学Ⅰ	2		電気機器Ⅰ	2	
		材料力学演習	1		電気機器Ⅱ	2	
		熱力学Ⅰ	2		発変電工学	2	
		熱力学演習	1		送配電工学	2	
		機械力学Ⅰ	2		パワーエレクトロニクス	2	
		機械力学演習	1		半導体工学	2	
		流体力学Ⅰ	2		情報理論（電気）	2	
		流体力学演習	1		ディジタル通信	2	
		機械設計法	2		アナログ通信	2	
		応用力学	2		電気機器設計製図	2	
		応用数学Ⅰ（機械系）	2		電気法規及び施設管理	2	
		応用数学Ⅱ（機械系）	2		電波及び通信法規	2	
		技術英語（機械系）	2		基礎電磁気学	2	
		構造化プログラミング	2		くらしの中の電気	2	
		制御基礎理論	2		電気電子材料	2	
		制御基礎理論演習	1		電子デバイス	2	
		伝熱工学	2		通信工学概論	2	
		伝熱工学演習	1		電磁気学Ⅰおよび同演習	3	
		ロボット機構学	2		微分方程式Ⅰおよび同演習	3	
		材料力学Ⅱ	2		振動・波動	2	
		応用加工学	2		電気電子回路	2	
		熱力学Ⅱ	2		科学技術英語	1	
		機械力学Ⅱ	2		基礎量子論	1	
		流体力学Ⅱ	2		微分方程式Ⅱ	2	
		制御・福祉工学	2		化学実験	2	
		メカトロ・人工知能工学	2		物理学実験	2	
		流体工学	2		材料デザイン工学実験	2	
		ロボット・生体工学	2		金属組織学Ⅰ	2	
		エネルギーシステム工学	2		材料力学	2	
		知能システム学実験	2		材料物理化学Ⅰ	2	
		電気電子工学概論	2		金属組織学Ⅱ	2	
		電気電子工学実験Ⅰ	2		金属強度学	2	
		電気電子工学実験Ⅱ	2		材料物理化学Ⅱ	2	
		電気電子工学実験Ⅲ	2		有機材料学	2	
		電気電子数学Ⅰ	2		電磁気学Ⅱ	1	
		電気電子数学Ⅱ	2		セラミックス・ガラス材料学	2	
		電気回路Ⅰ	2		金属材料学	2	
		電気回路Ⅱ	2		固体物性工学Ⅰ	1	

**表 2-5 (つづき) 「工業」の教科及び教科の指導法に関する科目**

事 項		授業科目名	単位数	必修 選択 必修	授業科目名	単位数	必修 選択 必修
教科 及び 教科の指 導法に 関する 専門的 的事項	工業の関係科目	固体物性工学Ⅱ	1		土木計画学及び同演習	2	
		結晶回折学	2		地球生態学	2	
		電池材料学	1		建設情報マネジメント	2	
		誘電体材料学	1		実践英語演習Ⅱ	2	
		光材料学	1		技術英語Ⅰ(土木・環境系)	2	
		金属接合工学	1		橋梁デザインコンペティション	2	
		磁性材料学	1		構造解析学	1	
		鉄鋼・非鉄製鍊学	1		河川工学	1	
		半導体材料学	1		海岸工学	1	
		持続可能な社会検討学	2		防災工学	1	
		材料数学	2		地盤工学	1	
		熱力学	2		岩盤工学	1	
		実践力学	2		交通計画	1	
		無機材料化学	2		国土のグランドデザイン	1	
		確率・統計学	2		コンクリート構造工学	1	
		応用数学Ⅰ(土木・環境系)	2		社会基盤材料工学	1	
		応用数学Ⅱ(土木・環境系)	2		土木情報メンテナンス工学	1	
		測量学	2		建設技術マネジメント	1	
		測量学実習	1		生態系保全工学	1	
		社会基盤工学実験	2		社会資本の整備と運用	2	
		構造力学Ⅰ及び同演習	2		技術英語Ⅱ(土木・環境系)	2	
		構造力学Ⅱ及び同演習	2		実践英語演習Ⅰ	2	
		水理学Ⅰ及び同演習	2		連続体の力学	2	
		水理学Ⅱ及び同演習	2		地球環境学	2	
		土質力学Ⅰ及び同演習	2				
		土質力学Ⅱ及び同演習	2				
		建設材料学	2				
	職業指導	職業指導概論(4年前)	2	◎			
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	工業科教育法1(3年前)	2	◎	工業科教育法2(3年後)	2	◎
必要な単位数		上記授業科目から 24 単位以上					

※上記授業科目から 24 単位以上取得すること。ただし、◎がついている科目は必ず含むこと。

※修得した「各教科の指導法」から 4 単位、「教科に関する専門的事項」から 16 単位以上(◎がついている科目を必ず含む)のラーニング・ログを作成する必要がある。

※高一種免(工業)の「工業科教育法1・2、教育の基礎的理解に関する科目等」の全部又は一部の単位は、当該教科の「教科に関する専門的事項」の単位で代替することができる。  
詳細は、教育支援課に問い合わせること。

**表 2-6 大学が独自に設定する科目**

免許状の種類	最低修得単位数
高等学校教諭一種免許状（高一種免許） 理 科	11 単位以上
高等学校教諭一種免許状（高一種免許） 情 報	9 単位以上
高等学校教諭一種免許状（高一種免許） 工 業	11 単位以上

※表 2-3（理科）2-4（情報）2-5（工業）「教科に関する専門的事項」から取得すること

**表 2-7 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目（文部科学省令で定める科目）**

文部科学省令で定める科目	単位数	履修科目（共通教育科目）	単位	開講時期
日本国憲法	2	教職日本国憲法	2	2 年（後）
体育	2	スポーツ	1	1 年（前）
		スポーツと教育	1	2 年（後）
外国語コミュニケーション	2	英語 I, 英語 II, 英語 III (から 2 科目)	2	1 年（前）
				1 年（後）
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー入門 I	1	1 年（前）
		情報リテラシー入門 II	1	1 年（前）
必要単位数の合計	8		8	

#### ○ 「教職日本国憲法」の履修条件

「教職日本国憲法」は、「教職履修ガイダンス」に出席していること、及び以下の①または②いずれかを満たすことを履修条件とする。

① 「教職基礎論」を修得済みであること。

※工学部で「工業」の高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者については、「教職履修意思確認書」の提出を代替条件とすることができる。

② 第Ⅰ期リフレクション・デイに参加し、教職課程学習ポートフォリオ（リフレクション・ログを含む）を提出していること。

#### ○ 「スポーツと教育」の履修条件

「スポーツと教育」は、「教職履修ガイダンス」に出席していること、「スポーツ」の単位を修得済みであること、及び以下の①または②いずれかを満たすことを履修条件とする。

① 「教職基礎論」を修得済みであること。

※工学部で「工業」の高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者については、「教職履修意思確認書」の提出を代替条件とすることができる。

② 第Ⅰ期リフレクション・デイに参加し、教職課程学習ポートフォリオ（リフレクション・ログを含む）を提出していること。

## 5. 3 教職実践演習

「教職実践演習」（必修）は、教職課程の授業科目や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され形成されたかについて、大学が自らの養成する教員像や到達目標等（教職課程のディプロマ・ポリシー）に照らして最終的に確認する科目で、4年次後学期に開講されます。

「教職実践演習」を受講するためには、次の履修条件を満たしていなければなりません。

- ① 「教職課程学習ポートフォリオ」（3種類のログ）を作成していること。
- ② 「リフレクション・デイ」（第Ⅰ～Ⅲ期の3回）に参加していること。
- ③ 「教職実践演習」（4年次後学期）履修時点で、未修得の「教育の基礎的理義に関する科目等」（「教育実習」、「教育実習事前・事後指導」を除く）が、3科目以内であること。
- ④ 「教職実践演習」（4年次後学期）履修時点で、取得予定教科の各教科の指導法に関する科目を1科目以上修得済みであること。
- ⑤ 「教育実習」を履修していること（当該学期に履修する場合を除く）。

「教職実践演習」の単位は、教員免許状取得に必要な全ての教職関連科目（「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理義に関する科目等」及び「大学が独自に設定する科目」）を修得しなければ認定されません。

なお、詳細については、1年次前学期開催の「教職履修ガイダンス」で説明しますので、必ず出席してください。

### 5. 3. 1 教職課程学習ポートフォリオ

「教職課程学習ポートフォリオ」は、①「ラーニング・ログ」（学習記録）、②「プラクティス・ログ」（実践体験記録）、③「リフレクション・ログ」（省察記録）で構成されます。「教職課程学習ポートフォリオ」は、4年次後学期の「教職実践演習」において、それまで身につけた資質能力のエビデンスデータになりますから、必ず作成しなければなりません。

「ラーニング・ログ」（学習記録）は、大学で開設される教職関連科目の学習成果の記録です。作成が必要な科目及び単位数は、別表のとおりです（参照、表2-2、2-3、2-4、2-5頁）。

「プラクティス・ログ」（実践体験記録）は、教育実習、地域連携実習など実践からの学習成果の記録です。「リフレクション・ログ」（省察記録）は、「リフレクション・デイ」での学習成果と自己評価の記録です。

なお、作成要領等詳細については、「教職履修ガイダンス」で説明しますので、必ず出席し、間違いないよう作成してください。

### 5.3.2 リフレクション・デイ

愛媛大学では、理論と実践を結びつけた体系的学習を支援するため、2年次末(第Ⅰ期)、3年次末(第Ⅱ期)、4年次後学期初頭(第Ⅲ期)に「リフレクション・デイ」を設けています。

教職指導として実施される「リフレクション・デイ」では、それまでに各自が作成した「ラーニング・ログ(学習記録)」「プラクティス・ログ(実践体験記録)」を用いて、「リフレクション・ログ(省察記録)」を作成し、各授業や活動等で学んだ知識・技能等の振り返り(省察)を行います。第Ⅰ期の「リフレクション・デイ」に参加しなかった場合、3年次に「教育の基礎的理解に関する科目等」及び各教科の指導法に関する科目(工業科教育法を除く)の履修は認められません。同じく、第Ⅱ期の「リフレクション・デイ」に参加しなかった場合、次の学期以降に「教育の基礎的理解に関する科目等」及び各教科の指導法に関する科目(工業科教育法を除く)の履修は認められません。第Ⅲ期のリフレクション・デイに参加しなかった場合「教育の基礎的理解に関する科目等」及び各教科の指導法に関する科目(工業科教育法を除く)の履修は認められません。

「リフレクション・デイ」に参加しなければ、教育職員免許状は取得できませんから、教育職員免許状を取得希望の学生は、必ず参加しなければなりません。ただし、「工業」の免許状を取得希望で、3年次以降に各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)、教育の基礎的理解に関する科目等を履修しない場合は、参加する必要はありません。

なお、詳細については、「教職履修ガイド」で説明しますので、必ず出席してください。

## 6. 「その他の資格について」

実社会では、職種によっては国家資格をもつことが法律で義務付けられている場合があります。それに対して国家試験又は資格認定講習などが課され、それらの結果により免状が授与されます。工学部卒業生又は特定コース卒業生に関連のある諸資格のうち、主な資格として次のものがあります。

なお、各資格に係る実務経験や申請方法等の具体的な内容については、各資格に係るホームページ等を参照してください。

### 技術士（技術士法）

第1次試験（技術士補）を受験・合格し、技術士補（修習技術者）となった後、定められた期間の実務経験により、第2次試験（技術士）を受験することができます。

（主務官庁 文部科学省）

### 安全管理者（労働安全衛生規則）

工学部卒業生で2年以上産業安全の実務に従事した経験を有し、定められた研修を修了した者は安全管理者に就任できます。

（主務官庁 厚生労働省）

### エネルギー管理士（エネルギー管理士免状交付規則）

エネルギー管理士試験に合格し、エネルギーの使用の合理化に関する実務に1年以上従事した場合、申請によりエネルギー管理士免状が交付されます。（この実務経験は受験の前でも後でも構いません。）

また、認定研修による取得方法としては、卒業後、エネルギーの使用の合理化に関する実務に3年以上従事した者は、エネルギー管理士研修（熱管理研修又は電気管理研修）を受講し修了すれば、申請によりエネルギー管理士免状が授与されます。

（主務官庁 経済産業省）

### ボイラー技士（ボイラー及び圧力容器安全規則）

在学中ボイラーに関する学科を修め（蒸気ボイラー又は蒸気原動機について2単位以上修得）、卒業後ボイラーの取り扱いについて2年以上の実地修習を経た者は、特級ボイラー技士試験を受験できます。また、卒業後ボイラーの取り扱いについて1年以上の実地修習を経た者は、1級ボイラー技士試験を受験できます。

（主務官庁 厚生労働省）

## 第一級陸上無線技術士（電波法）

電気電子工学コースの卒業生で、在学中に次の関係科目を修得した者は、卒業の日から3年以内に限り、国家試験の科目のうち「無線工学の基礎」を免除されます。

### ▼取得すべき授業科目等

認定基準に規定する科目	(令和6年4月入学、令和10年3月卒業者から対応)				備 考	
	卒業生が履修する科目並びに時間			選択必修の別		
	令和6年度課程表	単位数	時間数			
基礎専門教育科目	微積分 I ※1	4	45 (60)	必 修	210 時間以上の単位を取得すること。	
	線形代数 I ※1	2	22.5 (30)	必 修		
	線形代数 II ※1	2	22.5 (30)	必 修		
	微積分 II ※1	2	22.5 (30)	必 修		
	電気電子数学 I	2	22.5 (30)	必 修		
	電気電子数学 II	2	22.5 (30)	必 修		
	微分方程式	2	22.5 (30)			
	情報数学 ※3	2	22.5 (30)			
	材料数学 ※3	2	22.5 (30)			
	確率・統計学 ※3	2	22.5 (30)			
	応用数学 I ※4	2	22.5 (30)			
	応用数学 II ※4	2	22.5 (30)			
	統計解析 ※4	2	22.5 (30)			
	応用数学 III ※4	2	22.5 (30)			
	微分方程式 I および同演習 ※5	3	45 (60)			
物理	微分方程式 II ※5	2	22.5 (30)		120 時間以上の単位を取得すること。	
	機械基礎力学 ※3	2	22.5 (30)			
	連続体の力学 ※3	2	22.5 (30)			
	化学熱力学 ※3	2	22.5 (30)			
	流体力学 I ※6	2	22.5 (30)			
	材料力学 I ※6	2	22.5 (30)			
	物理基礎 I ※2	1	11.25 (15)	必 修		
	物理基礎 II ※2	1	11.25 (15)	必 修		
電気磁気学	電子物性	2	22.5 (30)		90 時間以上の単位を取得すること。	
	電気磁気学 I	2	22.5 (30)	必 修		
	電気磁気学 II	2	22.5 (30)	必 修		
	基礎電磁気学 ※3	2	22.5 (30)			
	電気電子工学演習 I	1	22.5 (30)	必 修		
	電気電子材料 ※3	2	22.5 (30)			
	電気機器 I	2	22.5 (30)			
半導体及び電子管並びに電子回路の基礎	電気機器 II	2	22.5 (30)		90 時間以上の単位を取得すること。	
	半導体工学	2	22.5 (30)			
	電子デバイス	2	22.5 (30)			
	電気電子工学演習 II	1	22.5 (30)	必 修		
	アナログ電子回路	2	22.5 (30)			
	ディジタル電子回路	2	22.5 (30)			

認定基準に規定する科目		(令和6年4月入学、令和10年3月卒業者から対応)				備 考	
		卒業生が履修する科目並びに時間			選択必修の別		
		令和6年度課程表	単位数	時間数			
基礎専門教育科目	電気回路	電気回路 I	2	22.5 (30)	必 修	120 時間以上の単位を取得すること。	
		電気回路 II	2	22.5 (30)	必 修		
		過渡現象	2	22.5 (30)			
		くらしの中の電気 ※3	2	22.5 (30)			
		送配電工学	2	22.5 (30)			
		制御工学	2	22.5 (30)			
		高電圧プラズマ工学	2	22.5 (30)			
基礎専門教育科目	電気磁気測定	電気電子工学実験 I	2	60 (60)	必 修	180 時間以上の単位を取得すること。	
		電気電子工学実験 II	2	60 (60)	必 修		
		電気電子工学実験 III	2	60 (60)	必 修		
		電磁波工学	1	11.25 (15)			
		無線工学	1	11.25 (15)			
		電気電子計測	2	22.5 (30)			

- ※ 1 共通教育科目
- ※ 2 工学共通基礎科目
- ※ 3 専門入門科目
- ※ 4 コンピュータ科学コース、応用情報工学コースの専門基礎、専門応用科目
- ※ 5 材料デザイン工学コースの専門基礎科目
- ※ 6 機械工学コース、知能システム学コースの専門基礎科目

注 1 コマが 90 分の授業科目については、90/120 により実時間に換算した時間数を記載している。  
(カッコ内の数字は、シラバスの単位に応じた時間数を記載)  
「認定基準に規定する科目」ごとに、各授業科目の実時間数の合計が備考欄に指定された時間数以上となるように取得すること。

(主務官庁 総務省)

## 第一級陸上特殊無線技士（電波法）

## 第二級海上特殊無線技士（〃）

電気電子工学コースの卒業生で在学中に次の科目を修得した者は、免許の申請ができます。

### ▼取得すべき授業科目等

- |                |          |              |            |
|----------------|----------|--------------|------------|
| ・ 無線工学         | ・ アナログ通信 | ・ ディジタル通信    | ・ 電磁波工学    |
| ・ 電気電子工学実験 III | ・ 電気電子計測 | ・ 電気電子工学実験 I | ・ 電波及び通信法規 |

(主務官庁 総務省)

## 電気主任技術者（電気事業法）

電気電子工学コースの卒業生で在学中に次の関係科目を修得し、卒業後 5 万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が 5 年以上の場合は、第一種電気主任技術者、1 万ボルト以上の電気工作物の工事、維持又は運用の経験が 3 年以上の場合は、第二種電気主任技術者免状取得の資格が得られます。

## ▼取得すべき授業科目等

### I . 資格試験免除のための必要な単位数

①	電気工学又は電子工学等の基礎	17 単位以上
②	発電、変電、送電、配電及び電気材料	7 単位以上
③	電気機器、応用、自動制御、情報伝送	10 単位以上
④	法規	1 単位
⑤	電気実験、電気実習	6 単位以上
⑥	電気電子機器設計、製図	2 単位以上
	合 計	43 単位以上

注) ②と④は合算した単位数が  
8 単位以上を満足すれば  
よいものとする。

### II . 各区分に対応する授業科目

#### ①電気工学又は電子工学等の基礎 (17 単位以上)

必修	授 業 科 目	単 位
◎	基礎電磁気学 ※	2
◎	電気磁気学 I	2
◎	電気磁気学 II	2
◎	電気回路 I	2
◎	電気回路 II	2
◎	過渡現象	2
◎	電気電子計測	2
	半導体工学	2
	電子デバイス	2
	電子物性	2
	アナログ電子回路	2
	ディジタル電子回路	2

#### ②発電、変電、送電、配電及び電気材料 (6 単位以上)

必修	授 業 科 目	単 位
◎	発変電工学	2
◎	送配電工学	2
	高電圧プラズマ工学	2
	電気電子材料 ※	2

#### ③電気機器、応用、自動制御、情報伝送 (10 単位以上)

必修	授 業 科 目	単 位
◎	電気機器 I	2
◎	電気機器 II	2
◎	制御工学	2
◎	パワーエレクトロニクス	2
	無線工学	1
	情報理論（電気）	2
	アナログ通信	2
	ディジタル通信	2
	通信工学概論	2
	くらしの中の電気 ※	2

④法規（1単位以上）

必修	授業科目	単位
◎	電気法規及び施設管理	2

⑤電気実験、電気実習（6単位以上）

必修	授業科目	単位
◎	電気電子工学実験Ⅰ	2
◎	電気電子工学実験Ⅲ	2
	電気電子工学実験Ⅱ	2
	電気電子工学演習Ⅰ	1
	電気電子工学演習Ⅱ	1

⑥電気電子機器設計、製図（2単位以上）

必修	授業科目	単位
	電気機器設計製図	2

(注) ※印の付されている授業科目は「専門入門科目」です。

(主務官庁 経済産業省)

## 電気工事士（電気工事法）

電気電子工学コースの卒業生で在学中に次の関係科目を修得した者は、第二種電気工事士の筆記試験が免除されます。

▼取得すべき授業科目

- ・電気理論 -- 電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電気磁気学Ⅰ、電気磁気学Ⅱ、過渡現象
- ・電気計測 -- 電気電子計測
- ・電気機器 -- 電気機器Ⅰ、電気機器Ⅱ
- ・電気材料 -- 電気電子材料 ※
- ・送配電 -- 送配電工学
- ・製図（配電図を含むものに限る。） -- 電気機器設計製図
- ・電気法規 -- 電気法規及び施設管理

(注) ※印の付されている授業科目は「専門入門科目」です。

(主務官庁 経済産業省)

## 危険物取扱者（消防法）

材料デザイン工学コースの卒業生、化学・生命科学コースの卒業生又は化学に関する授業科目を15単位以上修得した者は、甲種危険物取扱者試験を受験できます。

(主務官庁 各都道府県)

## **測量士（測量法）**

社会基盤工学コース及び社会デザインコースの卒業生で在学中に測量学、測量学実習、および関連する科目を修得し、卒業後1年以上測量に関する実務の経験を有する者は、願い出により測量士の資格を受けることができます。

社会基盤工学コース及び社会デザインコースの卒業生で在学中に測量学、測量学実習、および関連する科目を修得した者は、願い出により測量士補の資格を受けることができます。

### ▼取得すべき授業科目等

測量学及び測量学実習を含み、以下の測量に関する授業科目から30単位以上を取得すること。

#### ■社会基盤工学コース

- ・測量学 ・測量学実習 ・物理基礎I ※1 ・物理基礎II ※1 ・機械基礎力学 ※2
- ・連続体の力学 ※2 ・基礎電磁気学 ※2 ・建設分野のデジタル技術 ※2
- ・情報数学 ※2 ・材料数学 ※2 ・確率・統計学 ※2 ・構造力学I及び同演習
- ・応用数学I（土木・環境系） ・土質力学I及び同演習 ・水理学I及び同演習
- ・構造力学II及び同演習 ・応用数学II（土木・環境系） ・土質力学II及び同演習
- ・水理学II及び同演習 ・海岸工学 ・地盤工学 ・建設情報マネジメント
- ・社会基盤工学実験 ・河川工学 ・国土のグランドデザイン
- ・土木事業における関連法令 ・海洋物理学 ・岩盤工学 ・構造解析学 ・防災工学

#### ■社会デザインコース

- ・測量学 ・測量学実習 ・物理基礎I ※1 ・物理基礎II ※1
- ・機械基礎力学 ※2 ・連続体の力学 ※2 ・基礎電磁気学 ※2
- ・建設分野のデジタル技術 ※2 ・情報数学 ※2 ・材料数学 ※2
- ・確率・統計学 ※2 ・構造力学I及び同演習 ・応用数学I（土木・環境系）
- ・土質力学I及び同演習 ・水理学I及び同演習 ・構造力学II及び同演習
- ・応用数学II（土木・環境系） ・土質力学II及び同演習 ・水理学II及び同演習
- ・海岸工学 ・地盤工学 ・建設情報マネジメント ・社会基盤工学実験
- ・河川工学 ・国土のグランドデザイン ・土木事業における関連法令
- ・岩盤工学 ・構造解析学 ・防災工学

(注) ※1は「工学共通基礎科目」、※2は「専門入門科目」です。

(主務官庁 国土地理院)

## **土木施工管理技士、建設機械施工管理技士、建築施工管理技士（建設業法）**

### 【注意】

令和6年度から技術検定制度が改正され、受験資格が見直されています。特定のコースを卒業すれば検定の一部が免除される制度が検討されていますが、詳細は未定です。後日、詳細が決まり次第、掲示等でお知らせします。（資格取得希望者においても、積極的に情報収集をおこなってください。）

不明な点は工学部チームに問い合わせてください。

(主務官庁 国土交通省)

## **7. 「他大学との単位互換について」**

学則第17条、第24、第25条の規定により、本学において修得したものとみなす単位数は60単位を越えない範囲です。

他大学等の授業科目の履修申請方法・期限等は掲示でお知らせします。

ただし、卒業要件単位に算入できる授業科目及び単位数については、教育コースで異なります。

### **松山大学・松山短期大学との単位互換**

松山大学・松山短期大学で定められた授業科目を履修することができますが、卒業に必要な単位数には含まれません。

なお、松山大学の検定料、入学料、授業料は無料です。

### **放送大学との単位互換**

放送大学で開講する放送および印刷教材による授業科目のうち、本学で認めたものを履修することができます。

放送大学の検定料、入学料は不要ですが、授業料は必要です。

### **5大学工学部（山形大学、群馬大学、徳島大学、熊本大学、愛媛大学）との単位互換**

5大学工学部が指定した授業科目を履修することができます。

授業料は不要ですが、実験・演習等に関する費用は徴収することがあります。

### **中国・四国国立大学工学系学部との単位互換**

中国・四国国立大学工学系学部で開講される専門科目を履修することができます。

授業料は不要ですが、実験・演習等に関する費用は徴収することができます。

科目ごとに人数制限がありますので、必ず受講できるとは限りません。

### **海外の学術交流協定締結大学**

海外の学術交流協定を結んでいる大学（学部等）の科目を履修することができます。

授業料は無料です。

これまでに単位互換実績のある大学は次のとおりです。

ガジャマダ大学（インドネシア）

国立高雄大学（台湾）

バンドン工科大学（インドネシア）

蔚山大学校（大韓民国）

## **8. 「学内諸規程等」**

- 愛媛大学工学部規則
- 愛媛大学工学部教育課程履修規程
- 愛媛大学工学部における履修登録単位の上限に関する内規
- 愛媛大学工学部における成績不振者の判定基準及び  
指導方法についての申合せ
- 成績確認申立書

# 愛媛大学工学部規則

平成16年4月1日

規則第 216 号

## 第1章 総則

### (趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人愛媛大学基本規則第26条第2項の規定に基づき、愛媛大学工学部（以下「学部」という。）に関し、必要な事項を定める。

### (目的)

第2条 本学部は、愛媛大学学則（以下「学則」という。）及び愛媛大学憲章の趣旨を踏まえ、幅広い教養及び工学に関する基礎的知識に基づく十分な学問的知識を修得させ、豊かな人間性と自立した創造力に富む専門的職業人及び技術者となる人材を養成するとともに、深く工学分野の学芸を教授研究することにより、社会の文化の創造と発展に貢献することを目的とする。

## 第2章 教育課程及び授業科目

### (教育課程)

第3条 本学部の教育課程は、共通教育科目及び専門教育科目の授業科目に分け、別表のとおりそれぞれ区分し、編成する。

### (授業科目、単位数等)

第4条 授業科目を、必修科目及び選択科目に分ける。

2 授業科目、単位数及び履修に関する事項は、別に定める。

### (時間割の公示、履修科目の届出)

第5条 授業時間割は、毎学期授業開始前にあらかじめ公示する。

2 学生は、履修しようとする科目を、前項の公示後所定の期日までに学部長へ届け出なければならない。

3 履修科目を変更しようとする場合は、授業開始後所定の期日までに学部長へ届け出なければならない。

### (履修科目の登録の上限)

第6条 学則第16条第1項の規定により、学生が1の学期に履修科目として登録することができる単位数の上限については、別に定めるところによる。

2 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

### (入学前の既修得単位の認定)

第7条 学則第17条の規定により、本学部に入学する前に他の大学又は短期大学等において修得した単位又は学修を、本学部における授業科目の履修により修得したものとみなし、与えることのできる既修得単位の認定は、教授会において行う。

### (外国人留学生等の履修すべき授業科目)

第8条 学則第26条及び第27条に規定する外国人留学生等の履修すべき留学生対象科目の単位数等については、別に定めるところによる。

### 第3章 学業成績判定

(学業成績判定)

第9条 学業成績の判定は、別に定める愛媛大学学業成績判定に関する規程による。

### 第4章 卒業

(卒業の要件)

第10条 卒業の要件は、別表の単位数を修得することとする。

(早期卒業)

第11条 学則第47条の規定により、学生で3年以上在学したもの（これに準ずるものとして文部科学大臣の定める者を含む。）が、卒業の要件として前条に定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、3年次又は4年次前学期の終了時に、その卒業（以下「早期卒業」という。）を認めることができる。

2 本学部の学生の早期卒業については、別に定める。

### 第5章 編入学、再入学及び転学部

(編入学、再入学及び転学部)

第12条 学則第35条、第37条及び第39条の規定により、編入学、再入学又は転学部を志願する者があるときは、教授会の選考を経て、これを許可することがある。

2 本学部の学生で他の学部へ転学部しようとする者は、学部長の承認を得なければならぬ。

第13条 削除

第14条 削除

(第3年次編入学)

第15条 学則第36条の規定により、第3年次編入学定員による編入学を志願する者があるときは、別に定めるところにより選考を行い、入学を許可することがある。

(出願等)

第16条 編入学、再入学又は転学部の志願者は、所定の期日までに出願しなければならない。

2 編入学、再入学又は転学部の合格の通知を受けた者は、指定の期日までに所定の手続をしなければならない。

(在学すべき年数及び既修得単位の認定)

第17条 編入学（第3年次編入学を含む。）、再入学又は転学部を許可された者に対する本学に在学すべき年数及び既修得単位の認定は、教授会において行う。

### 第6章 学位及び教育職員免許

(学位)

第18条 学部の卒業者に授与する学位は、学士とし、専攻分野として工学の名称を付記する。

(教育職員免許)

第19条 教育職員の免許資格を得ようとする者は、その授与を受けようとする免許状の種類に従い、所定の科目及び単位数を修得しなければならない。

第7章 教育研究施設

(附属教育研究施設)

第20条 本学部に、附属船舶海洋工学センター、附属高機能材料センター及び附属社会基盤・センシングセンターを置く。

2 各附属教育研究施設に関する規程は、別に定める。

(工学教育推進室)

第20条の2 本学部に、工学教育推進室を置く。

2 工学教育推進室に関する規程は、別に定める。

第21条 削除

第8章 雜則

第22条 削除

(雑則)

第23条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教授会が定める。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成16年3月31日に学部に在学する者に係る教育課程、履修方法、卒業、単位等については、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成17年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位については、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成17年8月1日から施行する。

2 改正後の第10条の規定は、平成17年3月31日に本学部に在学する者については、適用しない。

附 則

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成18年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成19年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成20年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成20年6月19日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成21年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 平成22年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 平成23年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 平成24年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 平成25年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成26年12月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 平成27年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成28年2月26日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 平成28年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位について、なお従前の例による。

## 附 則

この規則は、平成30年6月13日から施行する。

### 附 則

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位、転課程及び転学科については、なお従前の例による。
- 3 平成31年3月31日に本学部の入学定員により措置された特別コースに在学する者に係る取扱いについては、なお従前の例による。

### 附 則

この規則は、令和元年7月1日から施行する。

### 附 則

この規則は、令和元年12月1日から施行する。

### 附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

### 附 則

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位については、なお従前の例による。

### 附 則

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に本学部に在学する者に係る教育課程、卒業の要件、単位については、なお従前の例による。

別表（第3条及び第10条関係）

区 分		卒業の要件
共通教育科目	初年次科目	7 単位以上
	基礎科目	18 単位以上
	未来思考支援科目	2 単位以上
	教養科目	14 単位以上
	発展科目	
専門教育科目	工学共通基礎科目	16 単位以上
	専門入門科目	10 単位以上
	専門基礎科目	57 単位以上
	専門応用科目	
合 計		124 単位以上

# 愛媛大学工学部教育課程履修規程

平成 16 年 4 月 1 日  
制 定

## (趣 旨)

第1条 この規程は、愛媛大学工学部（以下「本学部」という。）における教育課程の履修について、必要な事項を定めるものとする。

## (教育課程の適用)

第2条 教育課程の履修は、入学時の工学部規則による。

2 履修内容は、原則として入学時の教育課程表による。

第3条 本学部の学生が修得した単位は、成績原簿に記載する。

## (追試験)

第4条 次の各号に掲げる事情により専門教育科目及び新入生セミナーの試験を受験できなかった者から願い出があった場合には、担当教員の判断により追試験を実施することができる。

(1) 愛媛大学学業成績判定に係る授業欠席の取扱いに関する申合せに記載された事項

(2) 就職試験

(3) その他、やむを得ない事情

## (卒業論文)

第5条 卒業論文に関する取扱いは、学科において定める。

## (外国人留学生に係る履修方法の特例)

第6条 愛媛大学外国人留学生等の履修方法の特例に関する規程第3条の規定に基づき、本学部の外国人留学生に係る共通教育科目の教養科目及び基礎科目の履修については、次のとおり取り扱う。

(1) 次の表の第1欄に掲げる単位を修得したときは、第2欄に掲げる単位に代える。

第 1 欄	第 2 欄
日本語科目 4 単位	基礎科目（英語）4 単位
日本事情に関する科目 8 単位まで	教養科目 8 単位まで

(2) 英語を公用語とする国からの外国人留学生は、必ず日本語科目 4 単位を履修するものとすること。

(3) 英語を公用語としない国からの外国人留学生は、日本語科目 4 単位又は基礎科目（英語）4 単位のいずれかの科目 4 単位を選択するものとすること。この場合、日本語科目と基礎科目（英語）の単位を合算することによって 4 単位にすることはできない。

## 附 則

この内規は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この内規は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

この内規は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

# 愛媛大学工学部における履修登録単位の上限に関する内規（一部改正）

平成 22 年 2 月 18 日  
制 定

## （趣 旨）

第1条 この内規は、愛媛大学における履修登録単位数の上限に関する規程（以下「規程」という。）第5条の規定に基づき、愛媛大学工学部（以下「工学部」という。）における履修登録単位数の上限に関する取扱いについて必要な事項を定める。

## （上限単位数の対象としない授業科目）

第2条 規程第2条ただし書きに定める愛媛大学において学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限（以下「上限単位数」という。）の対象としない授業科目は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 集中講義や資格取得のための授業科目
- (2) 演習、実験、実習又は実技科目としている授業科目
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う授業科目
- (4) 受講し、かつ最終試験を受けて不可又は不合格となった授業科目について、次の学期以降に当該授業科目を履修する場合の授業科目
- (5) 「5大学工学部等間単位互換に関する覚書」、及び「中国・四国国立大学工学系学部相互間における単位互換に関する協定」に基づく科目
- (6) 放送大学の科目

## （上限単位数）

第3条 規程第3条ただし書きに基づき、工学部における効果的な教育を行うために必要とする特定学期の上限単位数を含め、1年次から4年次までの学生の各学期の上限単位数は、別表のとおりとする。

2 通年科目的履修単位数の取扱いは、学期で割った単位数をもって当該学期履修単位数に算入する。

## （上限単位制度の特例）

第4条 工学部における履修登録単位数の上限に関し、次の各号に掲げる学生については、特例として前条に定める上限単位数を超えて履修科目的登録を認めるものとする。

- (1) 3年次編入学（転学部を含む。）の学生
- (2) 愛媛大学工学部における早期卒業に関する規程に基づく早期卒業予定者
- (3) 当該学期の直前の2学期間（休学のために単位認定ができない学期を除く。）に、合計36単位以上修得していること及び同期間のG P A\*が3.0以上であること
- (4) 標準修業年限を超えて在学する者
- (5) その他病気、怪我等やむを得ない事情があると教務委員会が認めた者

## （雑 則）

第5条 この内規に定めるもののほか、履修登録単位の上限に関し必要な事項は教務委員会が定める。

## 附 則

この内規は、平成22年4月1日から施行し、平成22年4月1日入学者から適用する。

## 附 則

この内規は、平成27年4月1日から施行し、平成27年4月1日入学者から適用する。

## 附 則

この内規は、平成28年4月1日から施行し、平成28年4月1日入学者から適用する。

## 附 則

この内規は、平成29年4月1日から施行し、平成29年4月1日入学者から適用する。

## 附 則

この内規は、平成31年4月1日から施行し、平成31年4月1日入学者から適用する。

## 附 則

この内規は、令和5年4月1日から施行し、令和5年4月1日入学者から適用する。

\* G P A の算出方法は次のとおりとする。

$$G P A = \frac{4 \times 「秀」の単位数 + 3 \times 「優」の単位数 + 2 \times 「良」の単位数 + 1 \times 「可」の単位数}{総履修登録単位数}$$

## 別 表（第3条関係）

学年及び学期別上限単位数

学科	学年 学期	1年		2年		3年		4年	
		前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
工 学 科		30	30	24	26	24	24	24	24

# 愛媛大学工学部における成績不振者の判定基準及び指導方法についての申合せ

平成 31 年 4 月 1 日  
制 定

## (不振者の基準)

第1条 工学部における成績不振者とは、下記のいずれかに該当する者とする。

- (1) 3年終了時に卒業論文履修要件を満たしていない者
- (2) 学科の定める基準を満たしていない者

## (不振者への指導)

第2条 成績不振者への指導は、成績確認時に学生生活担当教員が行う。

## (成績表の送付)

第3条 前学期と後学期終了後、指導教員又は工学科教育コース長名で保証人又は保護者（以下「保証人等」という。）に成績表を送付する。

## (懇談会の開催)

第4条 毎年の後援会総会において、希望する保証人等に対し、懇談会を開催する。

## (指導不参加者への指導)

第5条 成績不振者が成績確認に来ない場合、及び修得単位が著しく少ない場合、指導教員又は工学科教育コース長名で保証人等に文書を送付する。

## 附 則

この申合せは、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

## 成績確認申立書

年 月 日

学部 研究科	学科・課程 コース 専攻	学籍番号	氏名
連絡先	電話番号 : 携帯電話 : メールアドレス :		
年度	学期	区分	開講学部等 : 共通教育, 学部, 大学院 (該当を丸で囲む)
科目番号	授業科目名		
成績確認申立の内容 (理由を明確に記入すること。)			

(以下は記入する必要ありません。)

受付	月日	事務担当課名	受付者氏名
----	----	--------	-------

## 授業担当教員記入欄

措置日 : 月 日

◆ 成績評価の変更 (該当に□を付してください。)

 有       無

◆ 授業担当教員所見

授業担当教員氏名

※皆さんから取得した個人情報は、学業成績判定に関する申立てについての連絡に利用します。  
なお、取得した個人情報は、前記の目的以外に利用することはありません。

回答日	月日	学部長等氏名	調査教員氏名
-----	----	--------	--------

## 成績確認申立書の提出について

- 学業成績が通知された後にその成績判定について疑義が生じ確認する必要がある場合は、成績確認申立書により、申立てることができます。
- 申立てを行う場合は、何故成績評価に納得できないのか、その具体的な理由を明確に記入してください。  
具体的とは、「この問題に関して、このように解答したが・・・」とか、「このテーマに関して、このような判断で記述したが・・・」というように、明確な書き方をしてください。
- 成績確認申立書の提出先は次のとおりです。  
なお、帰省等の理由により、事務担当課等に直接申立書を提出することができない場合は、修学支援システムトップページ (<http://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/>) より申立書をダウンロードし、以下のメールアドレス宛に添付ファイルにより提出することができます。  
(注) メールのタイトル(件名)は「成績確認申立書の送付」とし、受理メールの返信を確認してください。なお、メール送信後、土・日・祝日を除き2日を経過しても受理メールの返信がない場合は、電話による確認をしてください。

区分	学部等名	事務担当課等名（電話、メールアドレス）
学部科目	工学部	教育学生支援部教育支援課 工学部チーム (089-927-9690, kougakum@stu.ehime-u.ac.jp)

## 9. 「工学部ディプロマポリシー（D P）」

### ＜学部の教育理念と教育目的＞

愛媛大学学則及び愛媛大学憲章の趣旨を踏まえ、工学部では幅広い教養及び工学に関する基礎知識に基づいた学問的知識を修得させることにより、豊かな人間性と自立した創造力に富む専門的職業人及び技術者となる人材を養成することを目的としています。また、深く工学分野の学芸を教授研究することにより、社会の文化の創造と発展に貢献することを目的としています。

### ＜育成する人材像＞

社会や自然との係わりの中に自らを位置づけ、グローバルな視野からの多面的な判断によって工学・科学技術を主体的、自律的に行使することができる人材を育成します。また、科学とこれを基礎とする工学分野の基礎的知識を総合的に活用して、「ものづくり」や「システムづくり」に創造的かつ実践的能力を發揮し、かつ変化する産業構造に柔軟に対応し、社会に貢献することができる人材を育成します。

### ＜学習の到達目標＞

(知識・理解)

1. 幅広い教養と工学の基本的な知識を身につけている。
2. 工学の一専門分野について基礎的知識をもち、ものづくりやシステムづくりに活用できる。  
(思考・判断)
3. 科学や技術が社会におよぼす影響を理解し、国内外の視点から自立的かつ論理的な判断を行うことができる。  
(興味・関心・意欲)

4. 課題を解決するために必要となる工学的知識を自ら修得するために学習を継続する能力をもつ。  
(態度)

5. 自己の専門分野だけでなく教養および多様な工学的知識を総合的に活用しながら、現代社会が直面するさまざまな課題に柔軟に対応できる。
6. 課題を他者と協働して解決できる。  
(技能・表現)

7. 自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力、およびコミュニケーション能力をもつ。

### ＜卒業認定・学位授与＞

工学部の定める教育課程を修め、厳格な成績評価に基づき所定の単位を修得し、卒業要件を満たした学生に対して卒業を認定し学位（学士）を授与します。



# 愛媛大学学生として期待される能力

## 愛大学生コンピテンシー

「愛大学生コンピテンシー」は、「5つの能力」によって構成されています。そのそれぞれが、2つ又は3つの具体的な力(合計「12の具体的な力」)として表現されています。愛媛大学では、「愛大学生コンピテンシー」を「学生が卒業時に身に付けていることが期待される能力」と定義しています。この「愛大学生コンピテンシー」は、愛媛大学生が大学生として目指すべき方向を示したものです。

学生の活動は、卒業するために必要な正課の授業や研究活動だけではありません。学生ひとり一人が人間として成長する機会は、正課外のサークル活動や、準正課<sup>(※)</sup>のボランティア活動、留学、下級生への学修支援等々、正課以外にもたくさんあります。

愛媛大学は、このような学生の活動の場を大学として責任を持って確保し、大学生活全体を通して学生ひとり一人が、知的に成長することはもとより、人間としてトータルに成長することを支援します。

[ 愛大学生コンピテンシー ]

### 愛媛大学学生として期待される能力

**EUCS-S** Ehime University  
Competencies Standards  
for Students: EUCS-S

「愛大学生コンピテンシー」は「5つの能力」によって構成されています。そのそれぞれが、2つ又は3つの具体的な力(合計「12の具体的な力」)として表現されています。

**I**



知識や技能を適切に運用する能力

- 1. 個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる
- 2. 習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現できる

**II**



論理的に思考し判断する能力

- 3. 広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる(クリエイカル・シンキング／創造的思考)
- 4. 客観的根拠に基づき判断し、決策を提示できる(意思決定・判断力／課題発見・解決力)

**III**



多様な人と協働する能力

- 5. 様々な状況に応じて適切なコミュニケーションができる(傾聴／対話／ディスカッション／プレゼンテーション)
- 6. 目的達成のために多様な人と協働できる(協調性／多様性の尊重／ホスピタリティ)

**IV**



自立した個人として生きていく能力

- 7. 自らの個性や適性を活かして行動できる(自己理解／自己決断／自己省察／生涯学び続ける姿勢)
- 8. 社会的関係の中で自分の行動を調整できる(規範遵守／セルフマネジメント／レジリエンス)

**V**



組織や社会を牽引する能力

- 9. 集団・組織の一員として自覚と誇りをもって行動できる(責任感／連帯感／帰属意識／リーダーシップ)
- 10. 地域や国内外の課題に関心をもち、よりよい未来に向けて貢献できる(未来思考／国際性／社会貢献／アントレプレナーシップ)

※)準正課教育

愛媛大学では、「卒業要件には含まれない、あるいは単位付与を行わないが、愛媛大学の教育戦略と教育的意図に基づいて教職員が関与・支援する教育活動や学生支援活動」を「準正課教育」(co-curricula)と定義しています。準正課教育の特徴としては、(1)正課教育に比べて、学生の主体性のウェイトがより大きい、(2)教職員が活動内容に責任を持って関与し、適切な指導を行っている、ということが挙げられます。

